平成２８年度上半期　病院事業の概況

１　医療の質の向上について

小関病院長の退職に伴い，4月に後任として西浦病院長が新たに就任し，新体制による病院運営がスタートしました。本市の二次救急医療機関として「断らない救急」を目指すとともに，専門診療の充実と，特に「がん診療」について，予防・診断・治療・緩和ケアに至るまで，がん患者が安心して医療を受けられるよう診療機能の充実を目指します。

平成28年度上半期は5名の医師が新たに当院へ着任しました。がんの急性期治療を担う外科医や血液内科医に加え，常勤医が不足していた緩和ケア内科へ医師を補充するなど，がん診療を担う医師の充実を図りました。さらに，外科系手術の拡充に向け，麻酔科医の増員を行いました。

人間ドックセンター長には，これまでの兼務の医師から専従の医師を配置し，人間ドックを含む検診事業の充実や啓発に取り組み，特定健診の受診者数の増加につなげることができました。

また，新たに誕生した認知症看護認定看護師，慢性心不全看護認定看護師も本格的にチーム医療へ加わり，コメディカル部門においても外来がん治療認定薬剤師や認定理学療法士などの新たな資格取得者が誕生するなど，医療の質向上に向けて取組を行いました。

その他，医師会，薬剤師会，芦屋市福祉部等の行政及び各医療施設の関係者により構成される「在宅医療推進協議会」へ参加し，地域の特性に応じた地域包括ケアシステムの構築へ向けて取組を進めました。

２　経営状況について

経営状況につきましては，総収益が，2,754,429千円と前年同期に比べ156,512千円の増額となっております。これは，入院収益において，入院単価が前年同期に比べ587円減の44,941円となったものの，患者数が前年同期に比べ2,045人増加し，1日平均で，11.2人増の175.9人となったことにより，74,196千円の増額となったこと，また，外来収益において，患者数が前年同期に比べ19人増加するとともに，外来単価が前年同期に比べ293円増の12,425円となり，12,193千円の増額となったことなどにより，医業収益において，92,420千円の増額となりました。また，医業外収益においても，一般会計からの繰入金が66,402千円増加しております。

総費用は，2,352,766千円と前年同期に比べ88,632千円の増額となっております。これは，入院患者数の増加に伴う診療材料費の増加や法定福利費等の増加による給与費が増加したことが主なものです。

以上の結果，上半期収支において401,663千円の純利益となりました。

３　各種取組について

4 月に交換看護研修として，芦屋市の姉妹都市であるモンテベロ市ビバリー病院へ当院の看護師が赴き、米国の医療体制，急性期病院の役割等を学んできました。(11 月には，ビバリー病院の看護師が来日し，各部門の職員と交流しながら日本の医療体制，地域における当院の役割について学んでいただきました。)

9 月の「がんフォーラム 2016」は，「がん患者の QOL(生活の質)向上」をテーマに開催し，特別講演では国立がん研究センターの名誉総長 堀田 知光 先生を講師にお招きし，がん治療と仕事の両立，就労に関する総合支援について講演して頂きました。

以　上

市 立 芦 屋 病 院 中 期 経 営 計 画

（平成２６年度～平成３０年度）

平成２８年１２月１９日

目　　　　　　次

（市立芦屋病院中期経営計画）

Ⅰ　はじめに　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　1

Ⅱ　市民に提供する業務の質の向上に関する目標を達成するためにとるべき措置　・・・　3

1　診療事業　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　3

2　臨床研究事業　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　5

3　教育研修事業　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　5

4　総合的事項　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　7

Ⅲ　業務運営の効率化に関する目標を達成するためにとるべき措置　・・・・・・・・・　7

1　効率的な業務運営体制　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　7

2　業務運営の見直しや効率化による収支改善　・・・・・・・・・・・・・・・・　9

Ⅳ　収支計画及び資金計画　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　11

1　経営の改善　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　11

2　収支計画の策定　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　11

3　医療機器・建物整備に関する計画　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　11

4　債務の償還　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　11

Ⅴ　その他業務運営に関する事項　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　12

1　人事に関する計画　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　12

2　広報に関する事項　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　12

3　積極・戦略的な投資　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　12

（市立芦屋病院中期経営計画細則）

1　病院概要　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　13

2　事業規模・形態の見直しについて　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　13

3　経営改善（効率化）に係わる計画　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　14

4　収入増加・確保対策について（医療の質の向上に関すること）　・・・・・・・・・　15

5　一般会計における経費負担の考え方　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　18

６　経費削減・抑制対策について　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　18

７　PDCA サイクルの構築　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　19

８　病院機能評価　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　19

用語の説明　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　20

資　料

１　中期経営計画実行策　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　22

２　収支状況　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　29

３　診療科別収入（入院・外来）　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　30

４　診療行為別収入（入院・外来）　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　32

５　病院管理指標　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　34

６　施設基準届出一覧　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　43

７　講座等活動実績　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　46

８　実習受入実績及び予定　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　49

市立芦屋病院 中期経営計画

Ⅰ　はじめに

市立芦屋病院（以下「芦屋病院」という。）は，総務省主導の公立病院改革プランに則って，平成２１年度から５年間の市立芦屋病院改革プラン（以下「改革プラン」という。）を策定し，運営形態を地方公営企業法の全部適用にし，病院の更新築工事を始めとした病院機能特化などの病院経営の改革・改善に努めてきました。

改革プランでは，

Ⅰ　地域の公立病院として果たすべき役割

Ⅱ　一般会計における経費負担の考え方

Ⅲ　経営改善（効率化）に係わる計画

Ⅳ　事業規模・形態の見直しについて

Ⅴ　経費削減・抑制対策について

Ⅵ　収入増加・確保対策について（医療の質の向上に関すること）

Ⅶ　PDCA サイクルの構築

Ⅷ　その他

の大項目を挙げ，それぞれについて目標設定を行い，市立芦屋病院改革プラン評価委員会（以下「評価委員会」という。）の審議を経て毎年度ローリングを行ってきました。

この間，全国的な医師不足，看護師不足は常態化し，今後もこの傾向は続くと思われます。また，ますます進む高齢化は医療費の高騰を招き，国は病床数の削減，急性期病院のさらなる特化を求める方向にあり，医療を取り巻く社会環境は依然厳しいものがあります。

このような状況を踏まえ経営健全化を一層進めるために，平成２６年度から５ヵ年の市立芦屋病院中期経営計画（以後「中期経営計画」という。）を策定しました。基本的には，平成２５年３月に完工した新築病院施設の有効活用を図り，現存診療機能の充実を行います。

今後，わが国に求められる医療で考えなければならないものとして超高齢社会に対応する医療があります。出生数が減り，平均寿命の延びから 4 人に 1 人は高齢者となり，芦屋市もその例外ではありません。老齢期の患者が中心となる時代の医療は，病気と共存しながら生活の質（QOL）の維持・向上をめざし，地域や自宅での生活が出来るように地域全体で支える「地域完結型医療」への変化が求められます。

「地域完結型医療」を行う上で，市立芦屋病院が果たすべき役割として，

(1) 高齢者の救急を含めた急性期医療

(2) トリアージを行い，必要に応じて高度急性期病院と連携

(3) 回復期あるいは慢性期医療機関との連携

（4）地域在宅療養の推進

（5）病状不安定な在宅療養患者の受け入れ

等の地域における医療連携や地域包括ケアとの連携が考えられます。

一方で，消費税の増税や中小病院に厳しいとされる診療報酬の改定等，病院経営にとって多くの難題が予測されることや医師等の確保が困難な状況が続いていることをふまえ，この中期経営計画に掲載されている各方策を実行します。

また，現行の公立病院改革プランの対象期間が平成 25 年度までとなっていることから，今後の総務省の動向に注視し，適宜，検討を加えていきます。

芦屋市病院事業管理者　　佐治　文隆

Ⅱ　市民に提供する業務の質の向上に関する目標を達成するためにとるべき措置

芦屋病院は，公衆衛生の向上に寄与すること及び市民の健康に影響のある疾病に関する医療とともに地域の中で信頼される医療の提供，調査研究及び医療従事者の育成を実施する。

1　診療事業

利用者である市民に満足される安心で質の高い医療を提供することを主たる目標とする。

(1) 患者の目線に立った医療の提供

①　判りやすい説明と相談しやすい環境づくり

患者が医療内容を適切に理解し，患者の意思を尊重した治療の選択が可能なように，診療ガイドラインの活用や複数職種の同席による説明などに努め，相談しやすい体制作りに取り組む。

患者とのコミュニケーションに関する研修（接遇等）を充実し，患者満足度調査において，医療従事者の説明に関する項目の改善について検証を行う。

②　患者の価値観の尊重

患者満足度調査を定期的に実施し，その結果をふまえて患者の利便性に配慮した診療時間の設定や待ち時間を短縮する取組，入院環境（アメニティ）などサービスの向上を図る。

なお，患者満足度調査については患者の目線に立った観点からその見直しを図る。

(2) 安心・安全な医療の提供

①　医療倫理の確立

患者との信頼関係を醸成することが重要であり，カルテ開示など適切な情報開示に取り組むとともに，患者のプライバシーの保護に努める。

倫理委員会の組織・運営状況の改善に努めるとともに，倫理的事項について医療従事者に対する助言体制を整備する。

②　医療安全対策の充実

リスクマネージャーを中心に非日常（ヒヤリハット事例）報告の適正な分析等のリスク管理を推進するとともに，他病院との情報交換を実施するなど安全対策の標準化に取り組む。特に院内感染対策については，院内サーベイランスの充実

などに積極的に取り組む。

医療安全対策の充実に貢献する観点から，医療事故や医薬品等安全情報の報告を徹底する。さらにこれらの取組をとりまとめ，情報発信に努める。

(3) 質の高い医療の提供

① クリティカルパスの活用

チーム医療の推進，患者に判りやすい医療の提供や医療の標準化のため，クリティカルパスの活用を推進し，入院患者に対する適用率を50%以上にする。

② EBMの推進

エビデンスに基づいた医療（Evidence Based Medicine（以下「EBM」という。））を実践するため，臨床研究により得られた成果を臨床に反映させるとともに臨床評価指標の充実を図る。診療情報データベースを確立し，利用を促進する。

③ 患者のQOLの向上

快適な療養環境の提供や，接遇・コミュニケーション質向上などの改善に取り組み，患者満足度調査におけるQOLに関する項目の評価の向上に努める。

④ 職種間の協働，チーム医療の推進

チーム医療の推進に必要な多種多様な医療スタッフが，その高い専門性を連携・補完し合い，職種間の協働と役割分担された業務を実施することにより，質の高い医療を効率的に提供する。

⑤ 超高齢社会への対応

高齢者に多くみられる疾患（がん，骨そしょう症，呼吸器，循環器疾患等）に対する診療内容の充実を図るとともに在宅医療について研究する。

(4) 病院に期待される機能の発揮

① 医療計画をふまえ地域医療にいっそうの貢献

地域において必要とされる医療を的確に実施するため，地域連携クリティカルパス実施件数の増加や紹介率・逆紹介率の向上など地域医療機関との連携強化を図るとともに，県が策定する医療計画をふまえ，地域医療の向上に積極的に取り組む。紹介率，逆紹介率については，中期経営計画の期間中に平成25年度に比し，各々10%以上引き上げることに努める。

② 救急医療の拡充

引き続き内科二次救急体制を24時間365日堅持し，小児救急体制，外科系救急体制，消化器内視鏡救急体制等の拡充を図る。

なお，救急車の受入数及び救急受診後に入院した患者数について，中期経営計画の期間中に平成25年度に比し，各々20%以上の増加を目指す。

③　総合診療

今後，医療のなかでますます重要な役割を果たしていく患者のからだや心が抱える問題を総合的に診療し，必要に応じて専門医への橋渡しを行う「総合診療専門医」を育成する。

④　周産期医療

連携医療機関とのネットワークを強化し，地域のニーズに対応して周産期医療体制の整備を図る。

⑤　災害時の医療体制

災害時の医療では，病院自体も被災して病院としての機能が制限されることやマンパワーが不足されることが予想される。このため，市災害対策本部との連携のもと芦屋市医師会と協同して負傷者等の救急対応を行う。

また，県下の自治体病院が相互応援体制の協定を締結しており，災害が発生した直後に被災した病院が独自に十分な医療活動ができない場合に，その外の病院が相互扶助精神に基づき，速やかに応援協力することとなっている。今後とも周辺自治体病院との連携のもとに地域住民が安心できる医療の提供に努めていく。

⑥　政策医療の適切な実施

新型インフルエンザ等の感染症に対しては，兵庫県健康福祉事務所（保健所）と連携し，地域公的医療機関の責務を果たす。

院内保育所で行っている病児・病後児保育を継続して行う。

⑦　地域医療の効率化

阪神医療福祉情報ネットワーク「h-Anshin むこねっと」に参加し，二次救急システム，医療機関機能情報システム，患者情報共有システム等の IT 化されたネットワークを活用し，地域医療の効率化を目指す。

2　臨床研究事業

(1) 治験の推進

治験実施症例数について，中期経営計画の期間中に平成 25 年度に比し、100％以上の増加を達成する。

(2) 研究倫理の確立

臨床研究や治験を実施する際に，病院に設置された倫理委員会，治験審査委員会の審議を徹底し，その改善に努める。

3　教育研修事業

(1) 質の高い医療従事者の育成・確保

① 質の高い医師の育成

初期臨床研修プログラムに基づき，質の高い研修を実施して良質な医師の育成を行う。

臨床研修終了後の医師に対する専門分野の研修において，広く公募を行うとともに，研修コースや研修プログラムの充実を図り，良質な医師を育成する。あわせて幅広い総合的な診療能力を有し，全人的な医療を推進できる医師の育成に取り組む。

専門分野を担当する医師においては，専門医，認定医，指導医等の資格取得を促進し，医療の質の向上を図る。

② 質の高い看護師の育成

使命感を持った質の高い看護師の育成を行うとともに，高度な看護実践能力を持ち，医師など多職種との協働によりチーム医療を提供していくことの出来る看護師を育成するため，医療と一体となった看護教育に取り組む。

専門看護師，認定看護師等の採用及び資格取得を推進し，看護の質の向上を図る。専門看護師，認定看護師を中期経営計画の期間中に平成 25 年度に比し，実質 6 名（看護管理認定看護師を除く）の増を目指す。

看護学生の実習を積極的に受け入れ，高等看護教育に資する取組を行う。

③ 医療従事者の育成

コメディカルをはじめとする医療関係職種を対象とした研修についてさらなる充実を図る。

医療関係職種を目指す学生の実習を積極的に受け入れ，高度な専門知識，専門技術を有する医療従事者の育成に努める。

④ 事務職員の育成

事務職員の能力を最大限に発揮できる環境を整えるとともに，診療情報管理士等の資格取得を促進する。

(2) 地域医療の推進

① 研修事業の実施

地域の医療従事者を対象とする研究会や研修会，地域住民を対象とした教育機関や福祉施設における啓発活動，公開講座，講演会を開催し，地域社会に貢献する教育活動を実施する。

研究会等の内容の充実に努めるとともに，受講者数について平成 25 年度に比し 20%以上の増を目指す。

② 在宅医療推進の支援

在宅医療において中心的な役割を果たすかかりつけ医の負担を軽減し，在宅療

養患者が安心して医療を受けることができる在宅療養患者の後方支援病床の確保等の病診連携を確立するなどの在宅医療の推進に向けて，看護師，薬剤師など多職種を交えた地域連携室の拡充を図ります。

4　総合的事項

(1) 総合的な検証，改善等

年度ごとに政策医療に係わる機能，地域医療事情，経営状況等について総合的に検証し，その結果を公表するとともに，必要な改善処置を講ずる。

(2) 調査研究・情報発信機能の強化

臨床研究，治験，診療情報の分析等をはじめ，医療に係わる調査研究・情報発信機能の強化に努める。

Ⅲ　業務運営の効率化に関する目標を達成するためにとるべき措置

公営企業会計原則の下，部門別決算，月次決算等の精度を高め，効率的で透明な医業経営の確立を図る。財務面においては，収支相償（経常収支ベース）の経営を目指す。これらと合わせ業務の効率化を推進する。

1　効率的な業務運営体制

(1) 弾力的な措置の構築

ア　院内組織の効率的・効果的な構築

地域事情や特性を考慮した，より効率的な体制とする。

イ　組織運営の方針

①　副病院長の体制強化

看護職や事務職等の副病院長について，必要に応じて配置する。

②　地域連携部門の体制強化

地域医療連携室の体制を強化し，地域医療との連携の取組を強化する。

③　医療安全管理部門の強化

医療安全管理室を拡充して，リスクマネジメントへの取組を強化する。

④　看護部門の体制強化

看護部門については，病棟部門と外来部門の連携の推進をはじめ，効率的・効果的な運営体制とする。また，看護部門の人員配置を検討し，看護体制の強化を図る。加えて，看護助手の多様な活用を進める。

⑤　事務部門の体制強化

事務部門の組織及び正規職員の比率を見直し，効率的・効果的な運営体制とする。また，有資格者の確保や資格支援を促進するとともに，診療報酬の請求業務について，収益の安定的確保の面から直営を含めて体制強化を検討する。

⑥　人材育成，教育研修機能の強化

迅速に丁寧で心のこもった患者サービスが提供できるように，接遇の向上を図る。

看護師長（教育担当）の拡充を図り，新人看護師の教育や有為な人材育成を行い，さらには離職防止も図る。

また，看護師長（教育担当），事務職，コメディカル職種を含んだ組織体制の構築を検討し，人材育成体制の強化を図る。加えてトップダウンに頼らずボトムアップによる組織活性化に取り組む。

(2) 医師職にふさわしい給与体系の検討

医師が自己の働きに満足感と納得を感じ，貢献度が平等・公平のもとに客観的な評価を受け，その成果が給与に反映され，仕事へのモチベーションをあげることのできる年俸制等の導入を検討する。

(3) 人材の確保

医師等が，定年後も当院で働き続けられるように，また，良質な人材が確保できるように，任期付雇用の導入を検討する。

(4) 職員配置

各部門における職員の配置数については，各職員の職務と職責を考慮して適切なものとするとともに，活動性に応じた配置及び医療需要に応じた組織の構築に取り組む。

(5) 職員の業績評価等の適切な実施

職員が業務で発揮した能力，適正，実績等を適正に評価し，職員の給与に反映させるとともに，業務遂行意欲の向上を図る業績評価制度について，当該制度の適切な運用を継続し，必要に応じて改善を図る。併せて人事制度へのいっそうの活用を図ることにより，病院の能率的運営につなげる。

また，資格（認定医，認定看護師等）を生かした職務，院外活動への寄与に対する人事評価の整備に取り組む。

(6) 外部監査等の充実

① 外部評価の活用

市立芦屋病院中期経営計画評価委員会（仮称）による中期経営計画の進行・達成度の評価を行い，PDCA サイクルを活用し，年度ごとにローリングを行う。

② 病院機能評価

芦屋病院では質の高い医療を効率的に提供していくため，平成 22 年 8 月に日本医療機能評価機構による病院機能評価の認定を受けたが，引き続き，同機構が行う審査を継続的に受審し，機能の一層の充実・向上を推進する。

2 業務運営の見直しや効率化による収支改善

芦屋病院の特色・機能を十分に発揮させるとともに，院内の効率的・効果的な組織構築や職員の適正配置を行う。診療報酬上の施設基準の新規取得や効率的・効果的な医療の提供を通じて安定的な収入の確保を図るとともに，コスト削減に努め，経常収支で収支相償以上を目指す。

サービスの質の向上や経営改善に関する職員の自主的取組を奨励し，効率的な業務運営に向けた職員の改善意欲の向上を図る。

(1) 経営意識の向上

① 経営力の向上

毎年の事業計画を通じた経営管理サイクルをさらに充実させるとともに，医療事務などの経験者の採用や正規職員の育成を図る。

経営分析及び経営改善手法等の経営能力並びに診療報酬請求事務能力の向上を目的とした勉強会や研修を定期的に行うことにより職員の資質向上に努める。

② 政策医療に係わるコスト分析

救急医療等の政策医療に係わるコストの分析を実施し，必要な機能を維持しつつ適正なコスト管理を実施する。

(2) 収入の確保

① 病床稼働率の向上

良質で満足度の高い医療サービスを提供することにより，より多くの患者に市立芦屋病院の利用を促進し，患者数の増加による収入を確保する。

② 診療報酬業務の改善

適切な診療報酬請求業務の実施のため，業務自体の直営化を含めて検討し，職員の能力向上に取り組む。

③ 未収金対策の徹底

医業未収金については，新規発生防止及び早期解決の取組をいっそう推進し，

また法的手段の実施等によりその回収に努めることで，平成25年度に比して医業未収金比率の低減を図る。

(3) 業務運営コストの節減等

医薬品等の購入方法や業務委託の推進・点検，医業未収金対策の徹底など様々な取組や病院の有する人的・物的資源及びそのネットワークを有効に活用し，経営改善を図ることにより，費用の節減等を図る。

ア　業務運営コストの節減

①　材料費

同種同効医薬品の整理など，さらなる使用医薬品の標準化を推進し，調達方法及び対象品目等の見直しを行い，薬品費と消耗品費等の材料比率の増加の抑制を図る。

包括医療等の今後の診療報酬改定を考慮しつつ後発医薬品の採用を促進する。

②　人件費比率等

医療の高度化や各種施策などにも留意しつつ，適正な人員配置に努めるとともに，業務委託についてもコスト低減に十分配慮した有効活用を図ること等により，中期経営計画の期間中，人件比率と委託比率を合計した率について，業務の量と質に応じた病院運営の適正な率を目指す。

③　投資の効率化

大型医療機器整備の入札にあたっては，他病院の導入実績を把握し，場合によっては共同歩調を取るなど購入費用の削減を図る。

④　適正な契約事務の実施

原則として一般競争入札等によるものとし，競争性，公平性及び透明性が十分確保される方法により実施する。また，長期継続契約の導入など経費の削減を図る。

イ　医療資源の有効活用

①　医療機器の効率的な利用の促進

医療機器の効率的な使用に努め，ME(medical engineer)による集中管理及びメンテナンスの実施による稼働率の向上を図る。他の医療機関からの共同利用を推進し，中期経営計画の期間中に平成25年度に比し，CT，MRIの高額医療機器の共同利用数について50%以上の増加を目指す。

②　病床の効率的な利用の促進

病診連携・病病連携の推進等により平均在院日数の短縮を図るとともに，新規患者数を増加させるなどにより収支の改善に努める。

③　診療科の公募

院内開業による診療を目指した「耳鼻いんこう科」については，引き続き病院機能との連携を考慮した誘致に努め，医療機関としての機能の維持・向上及び財政基盤の安定化など有効活用に努める。

④　IT 化の促進

新地方公営企業会計に対応する財務会計システムにより，部門別決算や月次決算を行うとともに，財務状況を分析し経営改善に努める。

電子カルテ導入に併せて採用した医事会計システムにより，医事会計の効率的運営を図る。

Ⅳ　収支計画及び資金計画

「Ⅲ　業務運営の効率化に関する目標を達成するためにとるべき措置」で定めた計画を確実に実施することにより，財務内容の改善を図るため，以下の目標を達成する。

1　経営の改善

部門別決算及び月次決算を行うことにより各部門における経営実態を早期に把握し，問題点の抽出・改善を図り，中期経営計画期間の各年度における経常収支比率を 100%以上とすることを目指す。

2　収支計画の策定

中期経営計画において策定した各項目の着実な実行を前提とした医業収支の見込を反映した収支計画を策定し，各項目について毎年度ローリングによる見直しを行い，確実な医業収支の改善を図る。

①　収支計画（別紙）

②　資金計画（別紙）

3　医療機器・建物整備に関する計画

安全で良質な医療の向上を維持するためには，効率的・効果的な医療機器の更新及び施設整備は不可欠なものであり，特に，老朽化している高額医療機器等の更新については，芦屋病院に期待されている診療機能との整合性や，経費面からの費用対効果を稼働率などの客観的な視点で評価し，年次計画に基づき更新する。

①　医療機器等整備計画（別紙）

②　施設整備計画（別紙）

4　債務の償還

新病棟建設事業等で借り入れた企業債並びに毎年度の収支不足を補うために一般会計から借り入れた長期借入金の償還残高が，平成25年度末に約109億円見込まれている。その元利償還金の返済ピークを平成33年度と見込んでおり，年間の元利償還金の合計額が約8億円にも上り，経営を圧迫することが予測される。

そのため，収支相償を維持しつつ，借入金の元利償還が可能となるよう経営改善に努める。

Ⅴ　その他業務運営に関する事項

1　人事に関する計画

良質な医療を効率的に提供していくため，医師，看護師等の医療従事者数については，医療を取り巻く状況の変化に応じて柔軟に対応する。

特に，医師・看護師不足に対する確保対策を引き続き推進するとともに，離職防止や復職支援の対策を講じる。

また，優秀な人材の確保及び有効活用を図るため適切な配置転換を行う。さらに，有為な人材の育成や能力の開発を行うための研修を実施する。

2　広報に関する事項

芦屋病院の使命，果たしている役割・業務等について，広く市民の理解が得られるよう積極的かつ効率的な広報・情報発信に努める。

3　積極・戦略的な投資

患者満足度及び職員満足度に寄与するもののうち収益につながる費用対効果が得られ，投資効果の高いものへ優先的に投資する。

市立芦屋病院中期経営計画細則（第５版）

策定年月日　平成 26 年 3 月 31 日
対象期間　平成 26 年度～平成 30 年度
改定年月日　平成 27 年 7 月 30 日
改定年月日　平成 27 年 12 月 17 日
改定年月日　平成 28 年 7 月 21 日
改定年月日　平成 28 年 12 月 19 日
対象期間　平成 28 年度～平成 30 年度

※変更箇所　アンダーライン部分が前回からの変更箇所 ※変更理由　H28 年度上半期決算の数値による変更，記載誤りによる修正

1　病院概要

名　　称	市立芦屋病院
所　在　地	芦屋市朝日ヶ丘町 39 番 1 号
開　設　者	芦屋市長
開設年月日	昭和 27 年 7 月 12 日
許可病床数	199 床（一般病床　175 床，緩和ケア病床　24 床）
診 療 科 目	内科　血液・腫瘍内科　消化器内科　糖尿病・内分泌内科　循環器内科　呼吸器内科　緩和ケア内科　外科　消化器外科　乳腺外科　肛門外科　整形外科　産婦人科　小児科　眼科　耳鼻いんこう科　皮膚科　形成外科　放射線科　麻酔科　ペインクリニック内科　リハビリテーション科 以上 22 診療科，院内標榜を除く
運 営 形 態	地方公営企業法の全部適用（平成 21 年 4 月 1 日～）

2　事業規模・形態の見直しについて

(1) 運営形態について

当院は，平成 21 年 4 月からの地方公営企業法の全部適用を受けて，病院事業管理者を設置することにより，病院事業の独自性，医療情勢の変化への即応性を確立しつつあることからこの形態を当面は維持する。

地方独立行政法人や指定管理者制度等を用いた他の形態への変更に関しては，調査・研究を進めながら必要性がさらに認められる時点において検討を加えることとする。

(2) 事業規模について

当院は，平成 22 年 1 月より許可病床数を 199 床（一般病床 175 床，緩和ケア病床 24 床）として運営している。これは県の保健福祉医療計画並びに阪神南医療圏域において当院に求められる診療機能等を勘案したものである。

3　経営改善（効率化）に係わる計画

(1) 財務に係わる数値目標

(1) 財務に係わる数値目標

	当初目標	目　標	実　績
ア　経常収支比率			
平成 26 年度	９６．１％	９６．１％	９３．５％
平成 27 年度	９５．７	９１．７	９３．０
平成 28 年度	９５．９	９１．５	
平成 29 年度	９６．８	９２．９	
平成 30 年度	９８．１	９３．６	
イ　職員給与比率			
平成 26 年度	６３．９％	６３．９％	６５．７％
平成 27 年度	６２．８	６４．９	６２．７
平成 28 年度	６２．７	６５．２	
平成 29 年度	６１．９	６３．８	
平成 30 年度	６１．６	６３．０	
ウ　病床稼働率（一般）			
平成 26 年度	８８．６％	８８．６％	８６．２％
平成 27 年度	９０．０	８６．０	８７．３
平成 28 年度	９１．０	８６．２	<u>９１．７</u>
平成 29 年度	９２．０	８９．１	
平成 30 年度	９３．０	９０．２	
病床稼働率（緩和）			
平成 26 年度	８０．０％	８０．０％	７６．３％
平成 27 年度	８０．０	８０．０	５８．９
平成 28 年度	８０．０	８０．０	<u>６４．２</u>
平成 29 年度	８０．０	８０．０	

平成30年度	８０．０	８０．０	

エ　診療単価（入院・一般）

平成26年度	４３，８３０円	４３，８３０円	４３，５１４円
平成27年度	４４，０００	４５，０００	４４，２１６
平成28年度	４５，０００	４４，３６３	４４，１８４
平成29年度	４６，０００	４５，５０７	
平成30年度	４７，０００	４６，６３５	

診療単価（入院・緩和）

平成26年度	４５，０００円	４５，０００円	５２，６９９円
平成27年度	４５，０００	４５，０００	５４，５５７
平成28年度	４５，０００	５０，０００	５２，８１７
平成29年度	４５，０００	５０，０００	
平成30年度	４５，０００	５０，０００	

※実績は他病棟における診療費を含む。

診療単価（外来）

平成26年度	１１，９８４円	１１，９８４円	１１，８８３円
平成27年度	１２，０００	１１，８００	１２，２１９
平成28年度	１２，１００	１２，１００	１２，４２５
平成29年度	１２，２００	１３，３００	
平成30年度	１２，３００	１３，４００	

別に定める年次計画の達成状況に応じて常に検証を加え，必要に応じて改訂する。

4　収入増加・確保対策について（医療の質の向上に関すること）

(1)　診療機能について

ア　救急医療の拡充

①　内科二次救急の継続（24時間365日）

②　消化管出血等に対応できる消化器内視鏡救急外来の拡充

③　外科（外科・整形外科）救急外来の拡充

④　小児科二次救急の継続

⑤　総合診療医の育成

イ　がん対策の強化

①　がん検診・人間ドックの充実

②　がん予防診療（ピロリ菌外来・肝炎ウイルス対策）

③　低侵襲手術（上部・下部消化管内視鏡下手術，腹腔鏡下手術，胸腔鏡下手術）の拡充

④　外来・入院化学療法

⑤　がん緩和ケア（緩和ケアチーム介入・緩和ケア病棟）

⑥　がんに関する知識の啓発

⑦　院内がん登録の継続実施

ウ　生活習慣病対策の拡充

①　糖尿病対策

②　糖尿病合併症（循環器・神経・腎臓・眼底）の早期発見・診断・治療

③　循環器疾患（高血圧・動脈硬化・心筋梗塞）の診断・治療

④　脂質異常症の診断・治療

エ　循環器疾患への対応

①　循環器疾患（高血圧・動脈硬化・心筋梗塞）の診断・治療

②　心臓カテーテル検査と経皮的冠動脈形成術

③　下肢動脈末梢血管造影と下肢動脈形成術

④　徐脈性不整脈に対する検査・治療

オ　呼吸器疾患への対応

①　睡眠時無呼吸症候群（SAS）の診断・治療

②　慢性閉塞性肺疾患（COPD）の診断・治療

③　誤嚥性肺炎の予防

④　新型インフルエンザ対策

カ　骨・運動器疾患の対応拡充

①　骨粗鬆症の予防・診断・治療

②　関節疾患の診断・治療

③　外傷・骨折の診断・治療

④　運動器リハビリテーションの拡充

⑤　循環器・呼吸器・嚥下障害・脳血管リハビリテーション

キ　産婦人科医療の拡充

① 周産期医療の構築（周産期ネットワークの活用）

② 婦人科腫瘍の診断・治療

③ 泌尿婦人科疾患の診断・治療

④ 更年期婦人疾患の診断・治療

ク 小児科医療の充実

① 地域小児科医療の支援

② 予防接種の推進

③ 特色ある診療の実施（腎臓疾患等）

ケ 眼科医療の充実

① 眼科疾患の診断・治療

② 眼科疾患（白内障等）の入院手術の推進

コ 皮膚科・形成外科の拡充

① 診断・治療目的の手術の推進

サ 初期臨床研修医・後期研修医の確保

① 初期臨床研修プログラムの充実（臨床研修連携病院の拡充）

② 大学との襷がけ研修の実施

③ 後期研修プログラムの充実

(2) ネットワーク医療について

阪神南圏域に所在する主たる病院群の現状は以下のとおりである。

・兵庫医科大学病院	963 床
・関西労災病院	642 床
・兵庫県立尼崎総合医療センター	730 床
・県立西宮病院	400 床
・西宮市立中央病院	257 床
・市立芦屋病院	199 床
・笹生病院	189 床

なかでも圏域の西側に位置する県立西宮病院，西宮市立中央病院との連携強化とネットワーク医療の構築を目指して，以下の課題を中心に「ネットワーク化協議」を継続する。

・救急医療

・周産期医療

・診療科の相互補完

・研修・研究

阪神南北圏域（阪神 7 市 1 町）を対象とする阪神医療福祉ネットワーク「h-Anshin むこねっと」に参加し，二次救急システム，医療機関機能情報システム，患者情報共有システム等の IT 化されたネットワークを活用し，阪神 7 市医師会と連携して地域医療の効率化を目指す。

5　一般会計における経費負担の考え方

地方公営企業法に基づく基準内繰出を原則として，以下のとおりの操出を行うとともに，保健・福祉との連携経費など，社会情勢の変化にともなって生じる新たな出資等については別途協議とする。

（基準内操出）

(1) 病院の建設改良に要する経費の 1/2

(2) 病院事業債元利償還の 1/2（平成 14 年度以前分は 2/3）

(3) 救急医療の確保に要する経費（救急受け入れ体制の構築に伴う経費）

(4) 保健衛生行政事務に要する経費

(5) 医師及び看護師の研究研修に要する経費の 1/2

(6) 病院事業会計に係わる共済追加費用の負担に要する経費

(7) 地方公営企業職員に係わる基礎年金拠出金にかかる公的負担に要する経費

(8) 地方公営企業職員に係わる子ども手当に要する経費

(9) リハビリに要する経費（要した職員給与費から収入を除いた額）

(10) 小児医療に要する経費（要した職員給与費から収入を除いた額）

(11) 高度医療に要する経費

(12) 院内保育に要する経費（うち収入を以て充てることのできない経費）

(13) 医師確保対策に要する経費（医師の派遣を受けることに要する経費）

（別途協議）

(14) 医療・福祉ネットワークバスの運行に要する経費（予め協議において按分した額）

6　経費削減・抑制対策について

(1) 職員給与費の適正化について

給料表，各種手当ての見直しを行い，引き続き給与の適正化を図る。併せて業績評価制度（人事評価制度）についても継続して適正化を図る。

(2) 業務委託，人材派遣，非正規雇用について

業務委託，人材派遣，非正規（嘱託職員，臨時的任用職員）雇用を行うに際しては，

当該業務の専門性，特殊性，持続性，重要性，将来計画における人員計画等に鑑み，点検を実施する。アウトソーシングや非正規雇用を導入する条件として，

① 指揮命令系統の整備

② パートナーシップの醸成

③ 社会経済情勢への配慮

など，より良質な医療サービスの提供に主眼をおいて実施する。

なお，複数年契約や複合契約，分離発注の有効性に関しては日常的な点検を加える。

(3) 診療材料及び薬品における物流一元化について

物流一元化の評価，検証を実施したうえで改善を図る。

薬剤に関しては，包括医療等の今後の診療報酬改定を考慮しつつ後発医薬品の採用を促進し，中期経営計画の期間中に数量ベース,購入金額ベースともに平成 25 年度に比し 50%以上の増加を図る。併せて持参薬の活用等を実施する。

(4) 効率的な業務プロセスの再構築について

管理会計の整備に向け，DPC 分析ツールの活用によるベンチマークを行うとともに，診療行為別医療情報等を，活用できるよう電子カルテシステムの有効活用を図る。併せて診療機能支援，情報の集約化及び部門間の連携強化に活用する。

ドクタークラークの有効活用により，医師業務の軽減を行い，診療業務の効率化を推進する。

7 PDCA サイクルの構築

当中期経営計画の実効性の確保に関しては，市立芦屋病院中期経営計画評価委員会（仮称）を開催し，評価・検証内容を公表することにより担保することとし，当院は評価委員会からの指導，勧告に基づき当中期経営計画の実行及びローリングに努める。

8 病院機能評価

平成 26 年度に日本医療機能評価機構の病院機能評価を受審し，認定を更新する。

以上

用語の説明

○　ＭＥ（medical engineer）

高性能の医療機器の操作方法を医師や看護師等の医療スタッフに指導したり，医療機器の保守・点検を行う技術職

○　エビデンス

医学の分野では，ある治療法がある病気・怪我・症状に対して，効果があることを示す証拠や検証結果・臨床結果を指す。

医療行為において治療法を選択する際「確率的な情報」として，患者にとって安全で効果のある治療方法を選ぶ際に指針として利用される。

○　クリティカルパス（クリニカルパス）

入院中に行われる検査・処置・指導・看護・食事などを入院から退院までの時間順にまとめた診療計画表

○　サーベイランス（感染症サーベイランス）

感染症の発生状況を正確かつ継続的に調査・把握することにより，感染症の蔓延と予防に役立てるシステム

○　生活の質（QOL）クオリティ・オブ・ライフ

物理的な豊かさやサービスの量、個々の身辺自立だけでなく、精神面を含めた生活全体の豊かさと自己実現を含めた概念

○　総合医療

専門化・細分化した特定の臓器・疾患に限定せず，多角的に診療する医療

資　　　　料

平成２８年１２月

資料1

【中期経営計画実行策】

※上・下半期達成率については当該年度目標数値の1/2を目標数値として計算

診療科	実行策		診療	27年度	28年度	上半期		下半期		28年度		
				実績	目標	実績	達成率	実績	達成率	実績	到達差	達成率
内科（消化器）	入院患者数（１日平均）	（人）	入院	29.7	30.0	30.1	100.3%					
	入院単価	（円）	入院	38,397	40,000	37,293	93.2%					
	外来患者数（１日平均）	（人）	外来	38.7	40.0	38.4	96.0%					
	外来単価	（円）	外来	15,364	15,500	14,555	93.9%					
	内視鏡検査　上部	（件）	入院・外来	3,258	3,300	1,457	88.3%					
	内視鏡検査　下部	（件）	入院・外来	1,304	1,400	608	86.9%					
	ＥＲＣＰ(※1)関連	（件）	入院・外来	51	60	22	73.3%					
	小腸内視鏡・カプセル内視鏡	（件）	入院・外来	24	24	7	58.3%					
	大腸ポリペクトミー	（件）	入院・外来	253	280	125	89.3%					
	胃瘻造設	（件）	入院・外来	27	30	11	73.3%					
	新入院	（人）	入院	891	950	430	90.5%					
内科（腫瘍）	入院患者数（１日平均）	（人）	入院	29.2	27.0	28.9	107.0%					
	入院単価	（円）	入院	45,479	50,000	50,490	101.0%					
	外来患者数（１日平均）	（人）	外来	27.5	30.0	27.7	92.3%					
	抗がん剤無菌調剤（月平均件数）	（件）	入院	50.0	50.0	48.0	96.0%					
	無菌室加算	（件）	入院	234	240	495	412.5%					
	パス適応率	（率）	入院	19.1%	20.0%	24.5%	122.5%					
	がん患者指導管理料１	（件）	入院	26	30	17	113.3%					
	新入院	（人）	入院	468	480	208	86.7%					
	紹介件数	（件）	入院・外来	312	300	176	117.3%					
内科（糖尿病）	入院患者数（１日平均）	（人）	入院	27.4	36.5	39.9	109.3%					
	入院単価	（円）	入院	36,881	37,000	36,575	98.9%					
	外来患者数（１日平均）	（人）	外来	23.4	27.5	23.7	86.2%					
	外来単価	（円）	外来	19,715	20,000	19,347	96.7%					

※1　ＥＲＣＰ　・・・　内視鏡的逆行性胆管膵管造影検査

【中期経営計画実行策】

※上・下半期達成率については当該年度目標数値の1/2を目標数値として計算

診療科	実行策		診療	27年度	28年度	上半期		下半期		28年度		
				実績	目標	実績	達成率	実績	達成率	実績	到達差	達成率
内科（糖尿病）	エコー依頼数	(件)	外来	516	540	287	106.3%					
	ＰＷＶ(※2)　ＡＢＩ(※3)	(件)	外来	171	200	96	96.0%					
	外来栄養食事指導料	(件)	外来	355	650	289	88.9%					
	新入院	(人)	入院	551	640	367	114.7%					
	フットケア外来	(件)	外来	251	305	125	82.0%					
	神経伝導検査	(件)	外来	100	180	113	125.6%					
内科（循環器）	入院患者数（１日平均）	(人)	入院	12.9	14.3	13.8	96.5%					
	入院単価	(円)	入院	37,769	40,000	38,326	95.8%					
	外来患者数（１日平均）	(人)	外来	20.5	21.0	21.3	101.4%					
	外来単価	(円)	外来	10,443	11,000	10,317	93.8%					
	運動負荷心電図	(件)	入院・外来	84	110	57	103.6%					
	心臓超音波検査	(件)	入院・外来	991	1,100	597	108.5%					
	冠動脈造影ＣＴ	(件)	入院・外来	29	45	20	88.9%					
	ＡＢＩ・ＴＢＩ(※4)	(件)	入院・外来	422	470	247	105.1%					
	ホルター心電図	(件)	入院・外来	154	180	91	101.1%					
	ＡＢＰＭ(※5)	(件)	入院・外来	22	30	14	93.3%					
	下肢静脈エコー	(件)	入院・外来	24	130	100	153.8%					
	簡易ＰＳＧ(※6)	(件)	入院・外来	33	40	14	70.0%					
	一泊ＰＳＧ	(件)	入院	12	18	8	88.9%					
緩和ケア内科	入院患者数（１日平均）	(人)	入院	14.1	15.0	15.4	102.7%					
	外来患者数（１日平均）	(人)	外来	2.1	2.0	1.8	90.0%					

※2　ＰＷＶ　・・・　脈波伝搬速度検査
※3　ＡＢＩ　・・・　足関節上腕血圧比測定検査
※4　ＴＢＩ　・・・　足趾上腕血圧比測定検査
※5　ＡＢＰＭ　・・・　24時間自由行動下血圧測定検査
※6　ＰＳＧ　・・・　終夜ポリグラフ検査

【中期経営計画実行策】

※上・下半期達成率については当該年度目標数値の1/2を目標数値として計算

診療科	実行策		診療	27年度	28年度	上半期		下半期		28年度		
				実績	目標	実績	達成率	実績	達成率	実績	到達差	達成率
小児科	入院患者数（１日平均）	（人）	入院	5.2	6.0	4.6	76.7%					
	入院単価	（円）	入院	37,480	40,150	37,948	94.5%					
	外来患者数（１日平均）	（人）	外来	22.9	24.0	21.4	89.2%					
	外来単価	（円）	外来	6,471	6,600	6,636	100.5%					
	ＭＲＩ実施件数	（件）	外来	25	30	15	100.0%					
	ＣＴ実施件数	（件）	外来	57	60	20	66.7%					
	超音波検査	（件）	外来	131	150	85	113.3%					
	予防接種	（件）	外来	430	480	159	66.3%					
	健康診断	（件）	外来	69	65	21	64.6%					
産婦人科	入院患者数（１日平均）	（人）	入院	4.7	5.0	4.5	90.0%					
	入院単価	（円）	入院	100,747	100,000	96,562	96.6%					
	外来患者数（１日平均）	（人）	外来	19.2	20.0	18.6	93.0%					
	外来単価	（円）	外来	8,956	9,000	8,902	98.9%					
	ＭＲＩ実施	（件）	入院	8	4	3	150.0%					
	ＭＲＩ実施	（件）	外来	224	200	99	99.0%					
	ＣＴ実施	（件）	入院	8	4	3	150.0%					
	ＣＴ実施	（件）	外来	58	60	25	83.3%					
	超音波検査	（件）	入院	32	20	16	160.0%					
	超音波検査	（件）	外来	1,430	1,400	753	107.6%					
	手術	（件）	入院	301	240	137	114.2%					
	手術	（件）	外来	14	20	14	140.0%					
外科	入院患者数（１日平均）	（人）	入院	23.4	25.0	21.6	86.4%					
	入院単価	（円）	入院	54,713	55,000	53,242	96.8%					
	外来患者数（１日平均）	（人）	外来	31.0	32.5	28.6	88.0%					
	外来単価	（円）	外来	13,878	14,000	13,032	93.1%					

【中期経営計画実行策】

※上・下半期達成率については当該年度目標数値の1/2を目標数値として計算

診療科	実行策		診療	27年度	28年度	上半期		下半期		28年度		
				実績	目標	実績	達成率	実績	達成率	実績	到達差	達成率
外科	ＭＲＩ実施	(件)	入院	23	18	12	133.3%					
	ＭＲＩ実施	(件)	外来	252	270	134	99.3%					
	ＣＴ実施	(件)	入院	189	180	97	107.8%					
	ＣＴ実施	(件)	外来	900	905	434	95.9%					
	超音波検査	(件)	入院	141	145	71	97.9%					
	超音波検査	(件)	外来	843	925	473	102.3%					
	8,000点以上の手術件数	(件)	入院	400	405	162	80.0%					
	手術（全身麻酔)	(件)	入院	266	270	125	92.6%					
	手術（腹腔鏡)	(件)	入院	166	170	88	103.5%					
	夜間外科系救急	(件)	外来	20	24	6	50.0%					
	緊急手術総数	(件)	入院	137	140	59	84.3%					
	緊急手術（全身麻酔)	(件)	入院	61	68	38	111.8%					
	新入院	(人)	入院	515	520	262	100.8%					
	がん患者指導管理料１	(件)	入院	67	65	19	58.5%					
	紹介患者数	(件)	入院・外来	278	280	154	110.0%					
整形外科	入院患者数（１日平均)	(人)	入院	18.6	20.0	15.5	77.5%					
	入院単価	(円)	入院	42,626	44,000	46,550	105.8%					
	外来患者数（１日平均)	(人)	外来	65.2	66.5	64.5	97.0%					
	外来単価	(円)	外来	8,582	8,700	8,754	100.6%					
	ＭＲＩ実施	(件)	外来	832	1,335	388	58.1%					
	ＣＴ実施	(件)	外来	134	270	80	59.3%					
	超音波検査	(件)	外来	44	100	50	100.0%					
	手術（3,000点未満)	(件)	入院・外来	55	82	34	82.9%					
	手術（3,000点～7,999点)	(件)	入院・外来	65	110	22	40.0%					
	手術（8,000点以上)	(件)	入院・外来	138	241	81	67.2%					
	新入院	(人)	入院	322	514	135	52.5%					

【中期経営計画実行策】

※上・下半期達成率については当該年度目標数値の1/2を目標数値として計算

診　療　科	実　行　策		診　療	27年度	28年度	上　半　期		下　半　期		28　年　度		
				実　績	目　標	実　績	達成率	実　績	達成率	実　績	到達差	達成率
眼　科	入院患者数（１日平均）	（人）	入　院	1.3	1.3	1.3	100.0%					
	入院単価	（円）	入　院	123,559	110,000	99,106	90.1%					
	外来患者数（１日平均）	（人）	外　来	23.6	24.0	23.1	96.3%					
	外来単価	（円）	外　来	5,040	5,025	4,859	96.7%					
	静的視野検査	（件）	外　来	779	800	372	93.0%					
	動的視野検査	（件）	外　来	136	160	77	96.3%					
	手術	（件）	入　院	224	225	109	96.9%					
	手術	（件）	外　来	66	54	22	81.5%					
	新入院	（人）	入　院	221	225	109	96.9%					
麻　酔　科	全麻手術件数	（件）	入　院	582	550	260	94.5%					
２階病棟	入院患者数（１日平均）	（人）	入　院	45.8	46.8	46.5	99.4%					
	病床稼働率	（%）	入　院	88.1	90.0	89.5	99.4%					
	在院日数	（日）	入　院	16.4	16.0	15.3	104.4%					
３階東病棟	入院患者数（１日平均）	（人）	入　院	27.5	28.0	29.1	103.9%					
	病床稼働率	（%）	入　院	88.6	90.0	94.0	104.4%					
	在院日数	（日）	入　院	9.3	12.0	10.1	115.8%					
３階西病棟	入院患者数（１日平均）	（人）	入　院	38.6	41.2	43.0	104.4%					
	病床稼働率	（%）	入　院	84.0	90.0	93.4	103.8%					
	在院日数	（日）	入　院	10.7	10.0	12.0	80.0%					
４階東病棟	入院患者数（１日平均）	（人）	入　院	14.1	15.8	15.4	97.5%					
	病床稼働率	（%）	入　院	58.8	66.0	64.1	97.1%					
４階西病棟	入院患者数（１日平均）	（人）	入　院	40.8	42.0	41.8	99.5%					
	病床稼働率	（%）	入　院	88.7	92.0	90.9	98.8%					
	在院日数	（日）	入　院	19.5	17.0	19.3	86.5%					
外　来	外来患者数（１日平均）	（人）	外　来	340.8	350.0	331.9	94.8%					
	救急患者数（救急車）	（件）	入院・外来	1,227	1,300	675	103.8%					

【中期経営計画実行策】

※上・下半期達成率については当該年度目標数値の1/2を目標数値として計算

診療科	実行策		診療	27年度	28年度	上半期		下半期		28年度		
				実績	目標	実績	達成率	実績	達成率	実績	到達差	達成率
外来	フットケア外来	(件)	外来	251	280	125	89.3%					
	ＤＰＮ (※7)	(件)	外来	100	270	112	83.0%					
	小児ＬＤ（学習障害）外来	(件)	外来	412	240	214	178.3%					
薬剤科	服薬指導	(件)	入院	5,372	5,200	2,985	114.8%					
臨床検査科	検体検査実施件数	(件)	入院・外来	719,855	720,000	357,779	99.4%					
	病理検査実施件数	(件)	入院・外来	1,997	2,000	861	86.1%					
	生理検査実施件数	(件)	入院・外来	12,729	13,000	6,969	107.2%					
	（うち、超音波検査件数）	(件)	入院・外来	3,404	4,000	1,919	96.0%					
	（うち、人間ドック件数）	(件)	入院・外来	1,104	1,200	588	98.0%					
	検体検査管理加算Ⅰ	(件)	外来	21,140	22,000	10,559	96.0%					
	外来迅速検体検査加算	(件)	外来	88,573	90,000	42,909	95.4%					
	検体検査管理加算Ⅱ	(件)	入院	3,822	3,900	2,043	104.8%					
	尿沈渣目視法	(件)	入院・外来	3,583	2,500	2,039	163.1%					
放射線科	ＭＲＩ実施（紹介）	(件)	外来	1,031	1,134	451	79.5%					
	ＣＴ実施（紹介）	(件)	外来	564	620	269	86.8%					
	ＤＸＡ件数（紹介）	(件)	外来	115	128	67	104.7%					
	血管造影実施件数	(件)	外来	19	30	23	153.3%					
	マンモグラフィー	(件)	外来	1,218	1,340	570	85.1%					
リハビリテーション科	リハビリ患者数（１日平均）	(人)	入院・外来	83.1	76.5	83.8	109.5%					
	リハビリテーション実施単位数	(単位)	入院・外来	28,444	23,362	12,499	107.0%					
	リハビリテーション実施点数	(点)	入院・外来	6,412,051	5,318,115	2,854,727	107.4%					
	運動器件数	(件)	入院・外来	14,122	11,024	5,398	97.9%					
	運動器点数	(点)	入院・外来	2,588,660	2,288,794	996,326	87.1%					
	呼吸器件数	(件)	入院・外来	899	617	349	113.1%					
	呼吸器点数	(点)	入院・外来	157,325	122,812	61,075	99.5%					

※7　ＤＰＮ　・・・　神経伝導検査

【中期経営計画実行策】

※上・下半期達成率については当該年度目標数値の1/2を目標数値として計算

診療科	実行策		診療	27年度	28年度	上半期		下半期		28年度		
				実績	目標	実績	達成率	実績	達成率	実績	到達差	達成率
リハビリテーション科	脳血管件数	(件)	入院・外来	11,856	7,524	5,455	145.0%					
	脳血管点数	(点)	入院・外来	1,987,153	1,937,804	952,966	98.4%					
	がんリハビリ件数	(件)	入院・外来	1,567	1,777	1,297	146.0%					
	がんリハビリ点数	(点)	入院・外来	321,235	429,177	265,885	123.9%					
栄養管理室	患者提供食数	(食)	入院	134,618	139,612	70,796	101.4%					
	(うち特別食加算)	(%)	入院	30.4	35.0	29.1	83.1%					
	入院栄養指導	(件)	入院	561	700	434	124.0%					
	集団栄養指導	(件)	入院	13	35	12	68.6%					
	外来栄養食事指導	(件)	外来	570	750	392	104.5%					
	栄養サポートチーム加算	(件)	入院	464	500	235	94.0%					
	栄養サポート(歯科連携加算)	(件)	入院	-	50	51	204.0%					
	特別メニュー	(件)	入院	896	960	535	111.5%					
地域連携室	紹介患者数(月平均)	(人)	入院・外来	478	500	489	97.8%					
人間ドックセンター	受診者数	(件)	外来	1,051	1,200	560	93.3%					
	稼働率	(率)	外来	72.1	74.0	75.9	102.6%					
	収益額	(千円)	外来	52,550	60,000	28,000	93.3%					
	特定健診	(件)	外来	403	470	263	111.9%					
総括	入院患者数(1日平均)	(人)	入院	166.8	173.8	175.9	101.2%					
	外来患者数(1日平均)	(人)	外来	340.8	350.0	331.9	94.8%					
	入院単価	(円)	入院	45,092	45,000	44,941	99.9%					
	外来単価	(円)	外来	12,219	12,100	12,425	102.7%					
	病床稼働率	(%)	入院	83.8	87.3	88.4	101.3%					
	在院日数	(日)	入院	13.4	(17日以内)	13.8	—					
	紹介率	(%)	入院・外来	40.4	50.0	41.6	83.2%					
	逆紹介率	(%)	入院・外来	63.9	70.0	55.4	79.1%					

※紹介率、逆紹介率についてはH26年度より地域医療支援病院用計算式の変更及び承認要件の見直しがあった為、新基準による計算式で数値を算出しています。

資料２

収 支 状 況

（単位　千円）

項　目			27 年 度 予算	27 年 度 上期決算	28 年 度 予算	28 年 度 上期決算	対前年度上半期決算増減率（%）
収益	医 業 収 益		4, 417, 908	2, 315, 439	4, 470, 489	2, 407, 859	104. 0
		入院収益	2, 784, 289	1, 372, 170	2, 792, 250	1, 446, 366	105. 4
		外来収益	991, 857	495, 014	1, 029, 105	507, 207	102. 5
		室料差額収益	234, 045	117, 414	237, 308	119, 400	101. 7
		一般会計負担金	251, 485	251, 485	258, 167	258, 167	102. 7
		その他医業収益	156, 232	79, 356	153, 659	76, 719	96. 7
	医 業 外 収 益		347, 851	282, 429	394, 034	345, 599	122. 4
		一般会計負担金	244, 845	244, 845	311, 247	311, 247	127. 1
		その他医業外収益	103, 006	37, 584	82, 787	34, 352	91. 4
	特 別 利 益		1, 000	49	1, 000	971	1, 981. 6
	収 益 合 計		4, 766, 759	2, 597, 917	4, 865, 523	2, 754, 429	106. 0
費用	医 業 費 用		4, 981, 563	2, 194, 660	5, 157, 465	2, 288, 444	104. 3
		給 与 費	2, 753, 002	1, 164, 173	2, 913, 336	1, 187, 020	102. 0
		材 料 費	831, 906	375, 066	832, 564	442, 335	117. 9
		委 託 料	499, 119	239, 489	511, 573	236, 395	98. 7
		減価償却費	578, 411	288, 205	614, 681	307, 341	106. 6
		その他医業費用	319, 125	127, 727	285, 311	115, 353	90. 3
	医 業 外 費 用		161, 693	56, 950	157, 770	55, 260	97. 0
		支払利息	113, 040	55, 958	110, 054	54, 320	97. 1
		その他医業外費用	48, 653	992	47, 716	940	94. 8
	特 別 損 失		30, 000	12, 524	30, 000	9, 062	72. 4
	予 備 費		30, 000	0	30, 000	0	0. 0
	費 用 合 計		5, 203, 256	2, 264, 134	5, 375, 235	2, 352, 766	103. 9
純　損　益			△ 436, 497	333, 783	△ 509, 712	401, 663	

資料３

平成２８年度　診療科別収入（入院）

診 療 科		４月	５月	６月	７月	８月	９月	28年度上半期	27年度上半期	前年度比較
内　　科	収入額（円）	150, 566, 810	177, 042, 180	161, 327, 560	177, 189, 350	167, 988, 080	140, 766, 040	974, 880, 020	829, 182, 630	145, 697, 390
	患者数（人）	3, 689	4, 038	3, 737	4, 273	3, 988	3, 765	23, 490	20, 099	3, 391
	単　価（円）	40, 815	43, 844	43, 170	41, 467	42, 123	37, 388	41, 502	41, 255	247
外　　科	収入額（円）	36, 670, 840	35, 066, 690	34, 262, 180	35, 615, 360	34, 752, 720	31, 452, 290	207, 820, 080	259, 836, 560	△ 52, 016, 480
	患者数（人）	725	652	651	666	620	635	3, 949	4, 639	△ 690
	単　価（円）	50, 580	53, 783	52, 630	53, 477	56, 053	49, 531	52, 626	56, 011	△ 3, 385
整形外科	収入額（円）	25, 528, 324	19, 720, 143	23, 684, 672	23, 178, 194	18, 680, 069	20, 564, 886	131, 356, 288	138, 276, 567	△ 6, 920, 279
	患者数（人）	601	407	464	521	422	426	2, 841	3, 475	△ 634
	単　価（円）	42, 476	48, 452	51, 045	44, 488	44, 266	48, 274	46, 236	39, 792	6, 444
産婦人科	収入額（円）	12, 574, 600	7, 215, 000	14, 155, 250	15, 439, 980	15, 300, 700	13, 181, 920	77, 867, 450	86, 238, 780	△ 8, 371, 330
	患者数（人）	143	79	147	157	163	128	817	882	△ 65
	単　価（円）	87, 934	91, 329	96, 294	98, 344	93, 869	102, 984	95, 309	97, 776	△ 2, 467
小 児 科	収入額（円）	5, 553, 750	4, 248, 070	5, 071, 110	5, 305, 510	5, 597, 580	5, 194, 910	30, 970, 930	28, 794, 530	2, 176, 400
	患者数（人）	145	118	134	148	149	155	849	811	38
	単　価（円）	38, 302	36, 001	37, 844	35, 848	37, 568	33, 516	36, 479	35, 505	974
眼　　科	収入額（円）	3, 885, 720	3, 248, 500	5, 656, 800	3, 878, 950	4, 156, 740	2, 644, 470	23, 471, 180	29, 840, 730	△ 6, 369, 550
	患者数（人）	41	31	55	39	38	34	238	233	5
	単　価（円）	94, 774	104, 790	102, 851	99, 460	109, 388	77, 779	98, 618	128, 072	△ 29, 454
耳鼻咽喉科	収入額（円）									
	患者数（人）									
	単　価（円）									
合　計	収入額（円）	234, 780, 044	246, 540, 583	244, 157, 572	260, 607, 344	246, 475, 889	213, 804, 516	1, 446, 365, 948	1, 372, 169, 797	74, 196, 151
	患者数（人）	5, 344	5, 325	5, 188	5, 804	5, 380	5, 143	32, 184	30, 139	2, 045
	単　価（円）	43, 933	46, 299	47, 062	44, 901	45, 813	41, 572	44, 941	45, 528	△ 587

※外科の中には，皮膚科・ペインクリニック等の調定額も含まれています。

平成２８年度　診療科別収入（外来）

診 療 科		４月	５月	６月	７月	８月	９月	28年度上半期	27年度上半期	前年度比較
	収入額（円）	52, 657, 350	47, 944, 260	50, 071, 250	49, 960, 020	54, 085, 680	54, 097, 840	308, 816, 400	294, 147, 410	14, 668, 990
内　　科	患者数（人）	2, 900	2, 761	3, 006	2, 915	3, 016	2, 950	17, 548	17, 100	448
	単　価（円）	18, 158	17, 365	16, 657	17, 139	17, 933	18, 338	17, 598	17, 202	396
	収入額（円）	8, 317, 270	7, 164, 110	7, 698, 780	7, 066, 120	6, 567, 110	8, 469, 880	45, 283, 270	50, 786, 070	△ 5, 502, 800
外　　科	患者数（人）	581	555	619	612	522	630	3, 519	3, 786	△ 267
	単　価（円）	14, 315	12, 908	12, 437	11, 546	12, 581	13, 444	12, 868	13, 414	△ 546
	収入額（円）	11, 232, 049	11, 230, 320	11, 618, 985	10, 947, 767	12, 354, 317	11, 262, 250	68, 645, 688	63, 115, 838	5, 529, 850
整形外科	患者数（人）	1, 313	1, 321	1, 367	1, 244	1, 430	1, 257	7, 932	7, 921	11
	単　価（円）	8, 554	8, 501	8, 500	8, 800	8, 639	8, 960	8, 654	7, 968	686
	収入額（円）	2, 781, 050	3, 160, 620	3, 535, 190	3, 287, 410	3, 636, 470	3, 360, 860	19, 761, 600	20, 451, 630	△ 690, 030
産婦人科	患者数（人）	344	339	431	371	387	410	2, 282	2, 339	△ 57
	単　価（円）	8, 084	9, 323	8, 202	8, 861	9, 397	8, 197	8, 660	8, 744	△ 84
	収入額（円）	3, 034, 360	2, 668, 400	2, 751, 610	3, 098, 660	3, 281, 490	2, 385, 420	17, 219, 940	16, 762, 140	457, 800
小 児 科	患者数（人）	460	411	421	472	490	380	2, 634	2, 593	41
	単　価（円）	6, 596	6, 492	6, 536	6, 565	6, 697	6, 277	6, 538	6, 464	74
	収入額（円）	2, 527, 680	2, 327, 160	2, 271, 260	2, 617, 560	2, 145, 540	1, 860, 320	13, 749, 520	14, 724, 940	△ 975, 420
眼　　科	患者数（人）	509	453	490	459	486	444	2, 841	2, 920	△ 79
	単　価（円）	4, 966	5, 137	4, 635	5, 703	4, 415	4, 190	4, 840	5, 043	△ 203
	収入額（円）	1, 506, 820	1, 257, 180	1, 802, 520	1, 379, 250	1, 793, 350	1, 785, 830	9, 524, 950	8, 989, 950	535, 000
耳鼻咽喉科	患者数（人）	279	276	285	267	294	289	1, 690	1, 648	42
	単　価（円）	5, 401	4, 555	6, 325	5, 166	6, 100	6, 179	5, 636	5, 455	181
	収入額（円）	443, 270	671, 830	506, 510	515, 680	579, 840	569, 910	3, 287, 040	2, 920, 060	366, 980
皮 膚 科	患者数（人）	194	212	221	219	213	210	1, 269	1, 256	13
	単　価（円）	2, 285	3, 169	2, 292	2, 355	2, 722	2, 714	2, 590	2, 325	265
	収入額（円）	199, 430	266, 630	442, 950	181, 630	356, 790	258, 530	1, 705, 960	1, 572, 570	133, 390
形成外科	患者数（人）	13	24	26	25	27	20	135	141	△ 6
	単　価（円）	15, 341	11, 110	17, 037	7, 265	13, 214	12, 927	12, 637	11, 153	1, 484
	収入額（円）	2, 866, 890	3, 295, 210	3, 337, 160	2, 860, 970	3, 293, 510	3, 096, 480	18, 750, 220	20, 768, 060	△ 2, 017, 840
放射線科	患者数（人）	115	126	134	118	128	123	744	814	△ 70
	単　価（円）	24, 929	26, 152	24, 904	24, 246	25, 731	25, 175	25, 202	25, 514	△ 312
	収入額（円）	51, 900	57, 920	56, 250	71, 550	85, 060	139, 410	462, 090	775, 450	△ 313, 360
麻 酔 科	患者数（人）	40	31	39	33	42	44	229	286	△ 57
	単　価（円）	1, 298	1, 868	1, 442	2, 168	2, 025	3, 168	2, 018	2, 711	△ 693
	収入額（円）	85, 618, 069	80, 043, 640	84, 092, 465	81, 986, 617	88, 179, 157	87, 286, 730	507, 206, 678	495, 014, 118	12, 192, 560
合　計	患者数（人）	6, 748	6, 509	7, 039	6, 735	7, 035	6, 757	40, 823	40, 804	19
	単　価（円）	12, 688	12, 297	11, 947	12, 173	12, 534	12, 918	12, 425	12, 132	293

資料４

平成２８年度　診療行為別収入（入院）

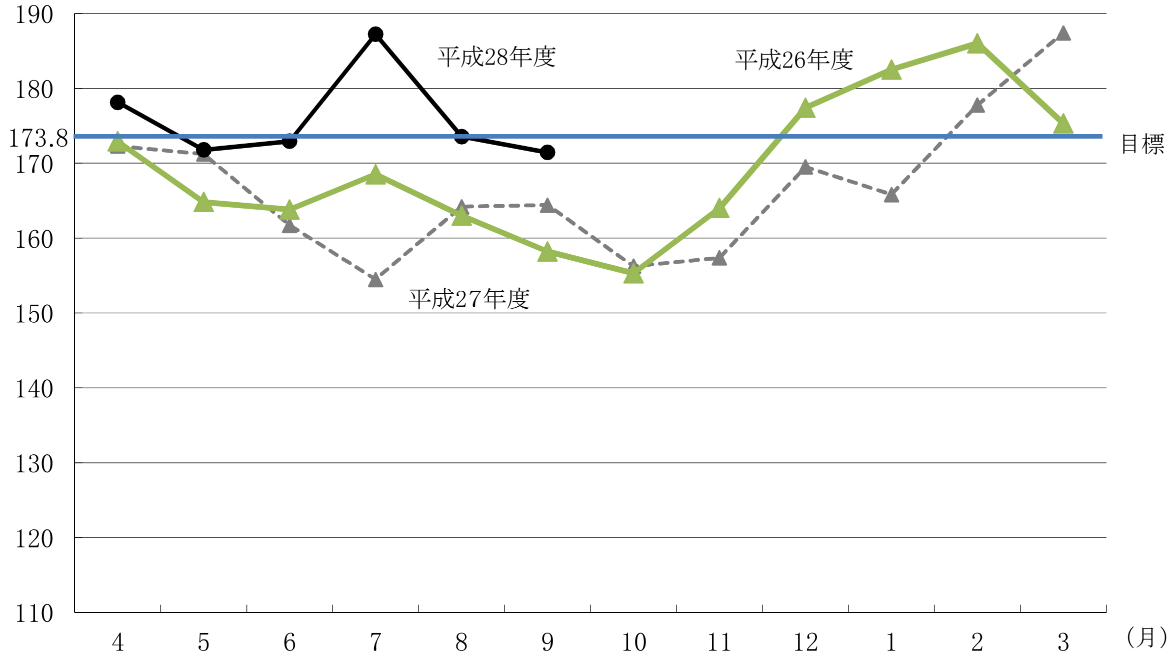
項　　目		４月	５月	６月	７月	８月	９月	28年度上半期	27年度上半期	前年度比較
基 本 料	収入額（円）	4, 346, 290	4, 545, 720	4, 973, 300	4, 578, 620	4, 293, 420	3, 728, 310	26, 465, 660	24, 172, 830	2, 292, 830
	患者数（人）	5, 344	5, 325	5, 188	5, 804	5, 380	5, 143	32, 184	30, 139	2, 045
	単　価（円）	813	854	959	789	798	725	822	802	20
投 薬 料	収入額（円）	2, 545, 220	2, 779, 640	1, 939, 930	2, 443, 340	2, 717, 290	1, 277, 950	13, 703, 370	12, 980, 300	723, 070
	患者数（人）	5, 344	5, 325	5, 188	5, 804	5, 380	5, 143	32, 184	30, 139	2, 045
	単　価（円）	476	522	374	421	505	248	426	431	△ 5
注 射 料	収入額（円）	1, 639, 130	2, 618, 030	2, 994, 180	2, 186, 640	1, 315, 870	508, 050	11, 261, 900	16, 492, 850	△ 5, 230, 950
	患者数（人）	5, 344	5, 325	5, 188	5, 804	5, 380	5, 143	32, 184	30, 139	2, 045
	単　価（円）	307	492	577	377	245	99	350	547	△ 197
処 置 料	収入額（円）	303, 020	263, 800	396, 260	197, 800	346, 250	166, 190	1, 673, 320	3, 523, 660	△ 1, 850, 340
	患者数（人）	5, 344	5, 325	5, 188	5, 804	5, 380	5, 143	32, 184	30, 139	2, 045
	単　価（円）	57	50	76	34	64	32	52	117	△ 65
手 術 料	収入額（円）	31, 368, 154	30, 307, 903	35, 997, 662	36, 876, 054	34, 076, 639	28, 704, 016	197, 330, 428	205, 095, 267	△ 7, 764, 839
	患者数（人）	5, 344	5, 325	5, 188	5, 804	5, 380	5, 143	32, 184	30, 139	2, 045
	単　価（円）	5, 870	5, 692	6, 939	6, 354	6, 334	5, 581	6, 131	6, 805	△ 674
検 査 料	収入額（円）	2, 299, 030	2, 709, 030	2, 528, 540	2, 485, 640	1, 786, 630	1, 815, 040	13, 623, 910	13, 920, 070	△ 296, 160
	患者数（人）	5, 344	5, 325	5, 188	5, 804	5, 380	5, 143	32, 184	30, 139	2, 045
	単　価（円）	430	509	487	428	332	353	423	462	△ 39
X 線 料	収入額（円）	787, 630	932, 910	781, 370	943, 250	786, 010	655, 640	4, 886, 810	5, 036, 490	△ 149, 680
	患者数（人）	5, 344	5, 325	5, 188	5, 804	5, 380	5, 143	32, 184	30, 139	2, 045
	単　価（円）	147	175	151	163	146	127	152	167	△ 15
リハビリ	収入額（円）	4, 202, 230	4, 661, 360	5, 250, 150	4, 368, 200	4, 688, 150	4, 178, 780	27, 348, 870	28, 925, 540	△ 1, 576, 670
	患者数（人）	5, 344	5, 325	5, 188	5, 804	5, 380	5, 143	32, 184	30, 139	2, 045
	単　価（円）	786	875	1, 012	753	871	813	850	960	△ 110
入 院 料	収入額（円）	178, 336, 610	188, 675, 200	180, 823, 680	197, 400, 480	187, 118, 680	164, 898, 600	1, 097, 253, 250	1, 009, 744, 860	87, 508, 390
	患者数（人）	5, 344	5, 325	5, 188	5, 804	5, 380	5, 143	32, 184	30, 139	2, 045
	単　価（円）	33, 371	35, 432	34, 854	34, 011	34, 780	32, 063	34, 093	33, 503	590
食 事 料	収入額（円）	8, 155, 800	8, 337, 220	7, 821, 530	8, 581, 970	7, 984, 100	7, 274, 170	48, 154, 790	45, 426, 410	2, 728, 380
	患者数（人）	5, 344	5, 325	5, 188	5, 804	5, 380	5, 143	32, 184	30, 139	2, 045
	単　価（円）	1, 526	1, 566	1, 508	1, 479	1, 484	1, 414	1, 496	1, 507	△ 11
そ の 他	収入額（円）	796, 930	709, 770	650, 970	545, 350	1, 362, 850	597, 770	4, 663, 640	6, 851, 520	△ 2, 187, 880
	患者数（人）	5, 344	5, 325	5, 188	5, 804	5, 380	5, 143	32, 184	30, 139	2, 045
	単　価（円）	149	133	125	94	253	116	145	227	△ 82
合　計	収入額（円）	234, 780, 044	246, 540, 583	244, 157, 572	260, 607, 344	246, 475, 889	213, 804, 516	1, 446, 365, 948	1, 372, 169, 797	74, 196, 151
	患者数（人）	5, 344	5, 325	5, 188	5, 804	5, 380	5, 143	32, 184	30, 139	2, 045
	単　価（円）	43, 933	46, 299	47, 062	44, 901	45, 813	41, 572	44, 941	45, 528	△ 587

平成２８年度　診療行為別収入（外来）

項　　目		４月	５月	６月	７月	８月	９月	28年度上半期	27年度上半期	前年度比較
基 本 料	収入額（円）	17,031,690	15,935,020	16,699,480	16,193,210	17,002,400	16,505,370	99,367,170	100,156,500	△ 789,330
	患者数（人）	6,748	6,509	7,039	6,735	7,035	6,757	40,823	40,804	19
	単　価（円）	2,524	2,448	2,372	2,404	2,417	2,443	2,434	2,455	△ 21
投 薬 料	収入額（円）	2,245,080	2,397,420	2,563,080	2,102,480	2,514,470	2,894,210	14,716,740	14,279,400	437,340
	患者数（人）	6,748	6,509	7,039	6,735	7,035	6,757	40,823	40,804	19
	単　価（円）	333	368	364	312	357	428	361	350	11
注 射 料	収入額（円）	17,275,960	14,632,300	13,135,700	15,524,060	19,363,480	18,154,260	98,085,760	93,536,060	4,549,700
	患者数（人）	6,748	6,509	7,039	6,735	7,035	6,757	40,823	40,804	19
	単　価（円）	2,560	2,248	1,866	2,305	2,752	2,687	2,403	2,292	111
処 置 料	収入額（円）	621,980	546,520	495,000	446,910	522,590	565,840	3,198,840	3,080,170	118,670
	患者数（人）	6,748	6,509	7,039	6,735	7,035	6,757	40,823	40,804	19
	単　価（円）	92	84	70	66	74	84	78	76	2
手 術 料	収入額（円）	2,133,870	2,755,350	3,445,660	3,222,230	2,231,640	3,407,020	17,195,770	18,910,860	△ 1,715,090
	患者数（人）	6,748	6,509	7,039	6,735	7,035	6,757	40,823	40,804	19
	単　価（円）	316	423	490	478	317	504	421	464	△ 43
検 査 料	収入額（円）	28,431,990	26,643,930	28,070,460	27,086,240	27,581,610	28,061,250	165,875,480	158,171,890	7,703,590
	患者数（人）	6,748	6,509	7,039	6,735	7,035	6,757	40,823	40,804	19
	単　価（円）	4,213	4,093	3,988	4,022	3,921	4,153	4,063	3,876	187
X 線 料	収入額（円）	13,868,170	13,469,140	15,682,340	13,615,100	14,920,690	13,877,180	85,432,620	83,350,510	2,082,110
	患者数（人）	6,748	6,509	7,039	6,735	7,035	6,757	40,823	40,804	19
	単　価（円）	2,055	2,069	2,228	2,022	2,121	2,054	2,093	2,043	50
リハビリ	収入額（円）	717,550	618,970	742,840	689,940	763,670	627,750	4,160,720	4,991,810	△ 831,090
	患者数（人）	6,748	6,509	7,039	6,735	7,035	6,757	40,823	40,804	19
	単　価（円）	106	95	106	102	109	93	102	122	△ 20
その他	収入額（円）	3,291,779	3,044,990	3,257,905	3,106,447	3,278,607	3,193,850	19,173,578	18,536,918	636,660
	患者数（人）	6,748	6,509	7,039	6,735	7,035	6,757	40,823	40,804	19
	単　価（円）	488	468	463	461	466	473	470	454	16
合　計	収入額（円）	85,618,069	80,043,640	84,092,465	81,986,617	88,179,157	87,286,730	507,206,678	495,014,118	12,192,560
	患者数（人）	6,748	6,509	7,039	6,735	7,035	6,757	40,823	40,804	19
	単　価（円）	12,688	12,297	11,947	12,173	12,534	12,918	12,425	12,132	293

病 院 管 理 指 標

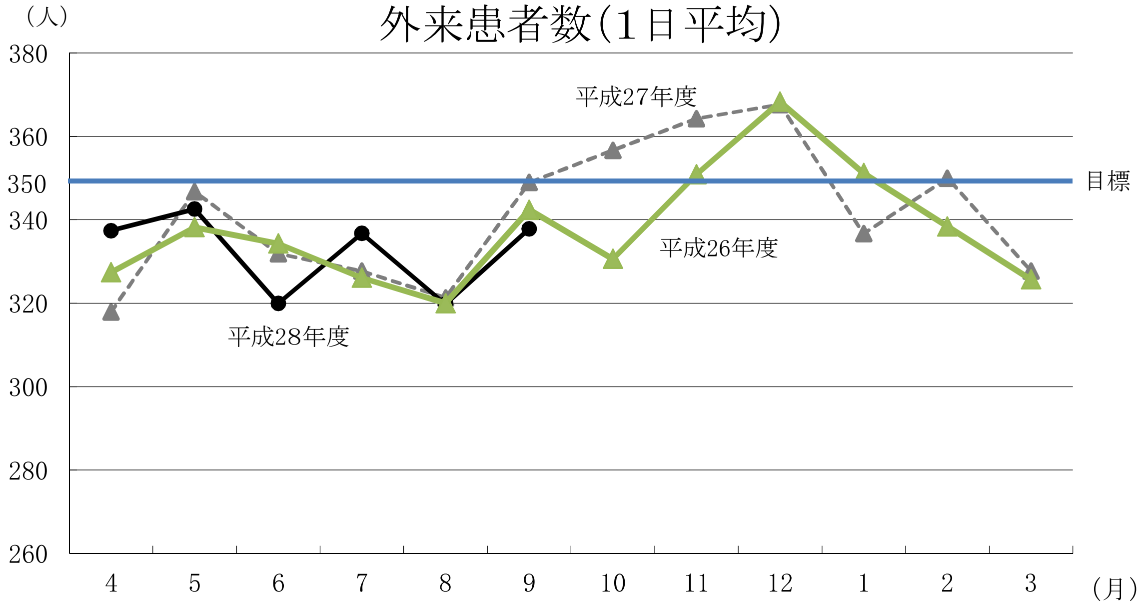
入院患者数(1日平均)



(人)

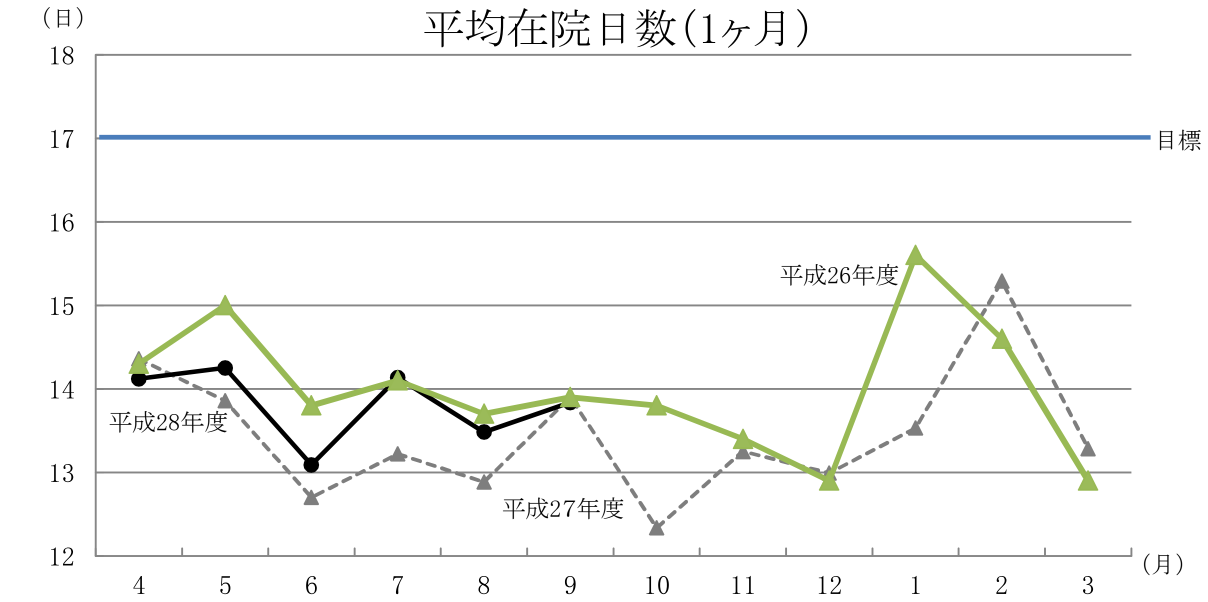
	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4-9月計
平成26年度	172.9	164.8	163.8	168.5	163.0	158.2	155.3	164.0	177.4	182.5	186.0	175.3	165.2
平成27年度	172.3	171.2	161.7	154.5	164.2	164.4	156.3	157.4	169.5	165.8	177.8	187.4	164.7
平成28年度	178.1	171.8	172.9	187.2	173.5	171.4							175.9
前年度比較	5.8	0.6	11.2	32.7	9.3	7.0							11.2

外来患者数(1日平均)



(人)

	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4-9月計
平成26年度	327.4	338.2	334.3	326.1	320.0	342.4	330.6	350.9	368.3	351.2	338.4	325.7	331.2
平成27年度	317.9	346.8	331.9	327.7	321.3	348.9	356.7	364.3	367.6	336.7	350.0	327.7	331.7
平成28年度	337.4	342.6	320.0	336.8	319.8	337.9							331.9
前年度比較	19.5	△ 4.2	△ 11.9	9.1	△ 1.5	△ 11.0							0.2



平均在院日数(1ヶ月) (日)

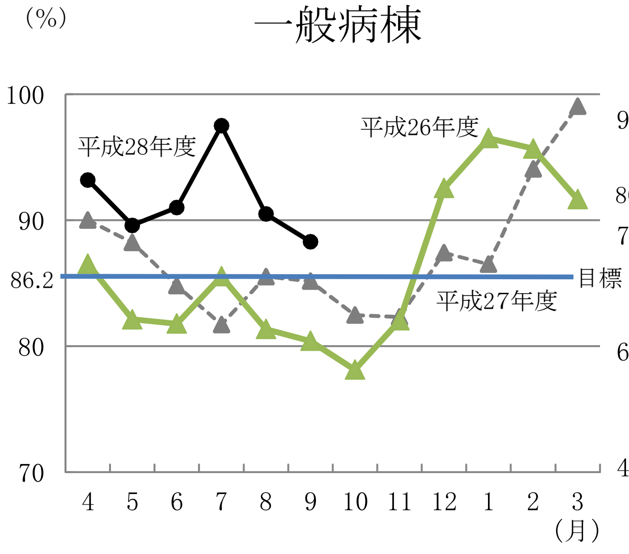
	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4-9月計
平成26年度	14.3	15.0	13.8	14.1	13.7	13.9	13.8	13.4	12.9	15.6	14.6	12.9	14.1
平成27年度	14.4	13.9	12.7	13.2	12.9	13.9	12.3	13.3	13.0	13.5	15.3	13.3	13.5
平成28年度	14.1	14.3	13.1	14.1	13.5	13.8							13.8

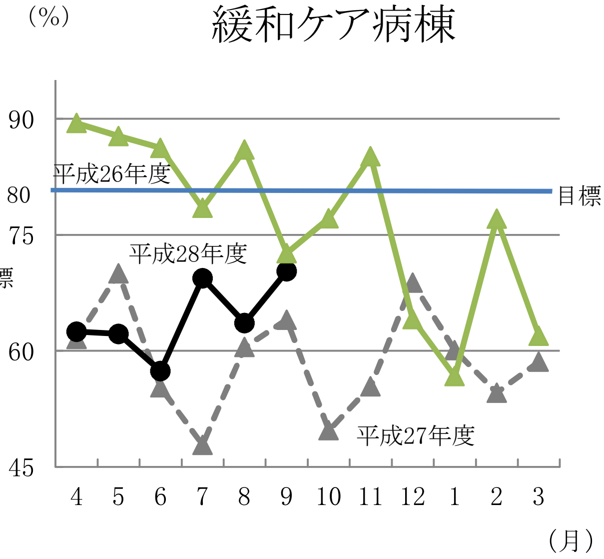
平均在院日数(3ヶ月) (日)

平成26年度	14.2	14.3	14.0	13.7	13.4	13.5	14.4	14.1	13.7	14.0	14.5	14.6	－
平成27年度	14.4	14.2	14.0	13.6	13.1	13.1	12.7	12.7	12.9	13.1	14.0	13.9	–
平成28年度	14.5	14.1	14.5	14.1	14.2	14.4							–

※上記平均在院日数(1ヵ月・3ヶ月共に)は緩和ケア病棟患者数は除く

病床稼働率





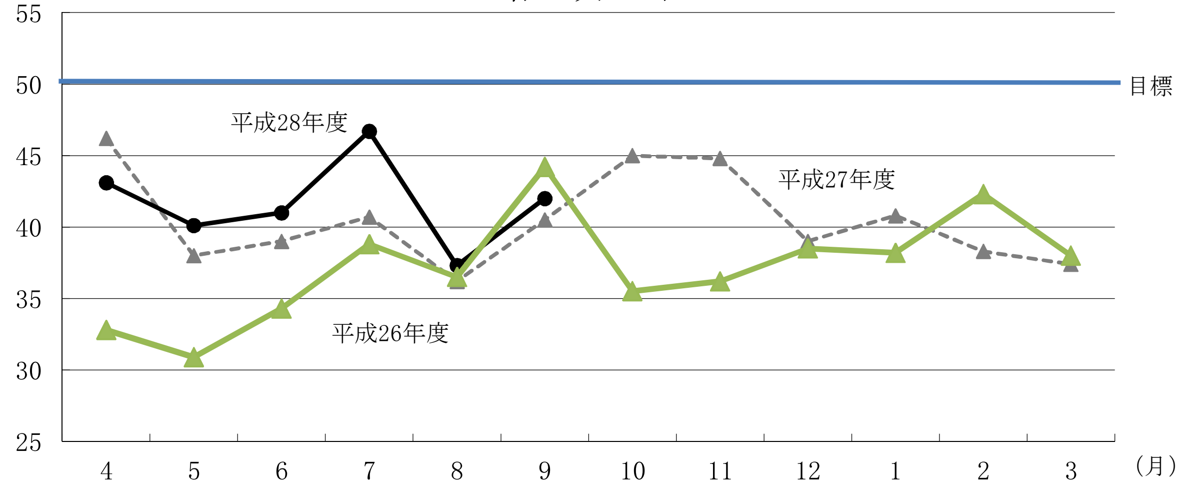
一般病棟 (%)

	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4-9月計
平成26年度	86.5	82.1	81.8	85.5	81.4	80.4	78.1	82.0	92.6	96.5	95.7	91.7	83.0
平成27年度	90.0	88.2	84.8	81.7	85.5	85.2	82.5	82.3	87.4	86.5	94.1	99.1	85.9
平成28年度	93.2	89.6	91.0	97.5	90.5	88.3							91.7

緩和ケア病棟

平成26年度	89.4	87.8	86.3	78.5	86.0	72.6	77.2	85.1	64.1	56.7	77.1	62.0	83.0
平成27年度	61.5	70.0	55.3	47.8	60.5	64.0	49.7	55.4	68.8	60.1	54.6	58.6	59.7
平成28年度	62.5	62.2	57.4	69.4	63.6	70.3							64.2

紹 介 率



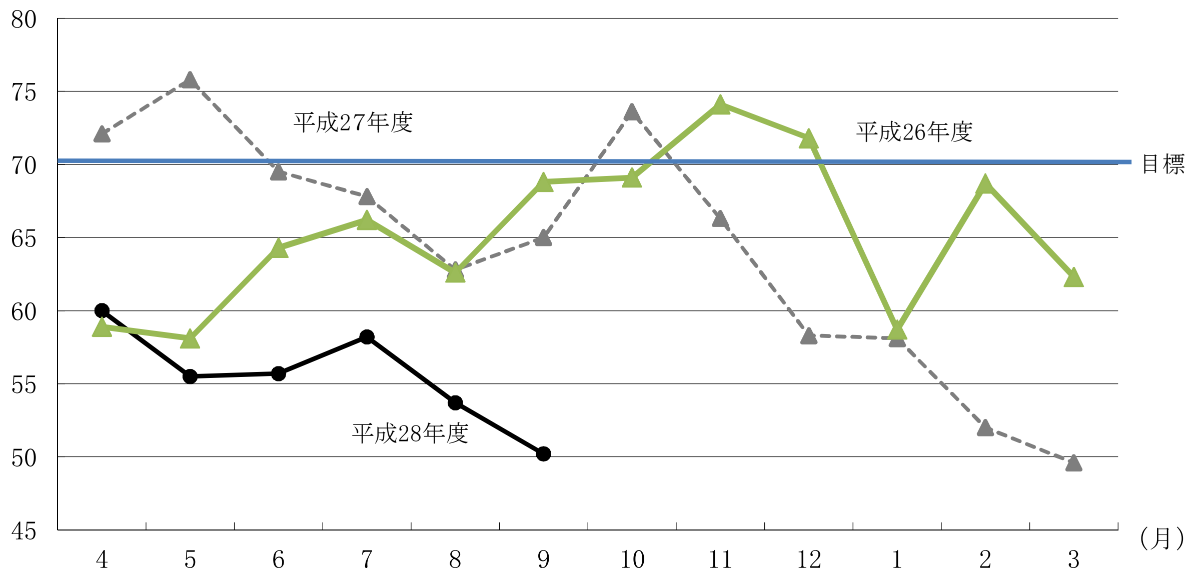
(%)

	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4-9月計
平成26年度	32.8	30.9	34.3	38.8	36.5	44.2	35.5	36.2	38.5	38.2	42.3	38.0	36.3
平成27年度	46.2	38.0	39.0	40.7	36.2	40.5	45.0	44.8	39.0	40.8	38.3	37.4	40.0
平成28年度	43.1	40.1	41.0	46.7	37.3	42.0							41.6
前年度比較	△ 3.1	2.1	2.0	6.0	1.1	1.5							1.6

(人)

		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4-9月計
分子	(A)紹介患者数	305	294	337	358	317	358							1,969
分母	(B)初診患者数	877	932	994	979	1,055	997							5,834
	(C)救急患者数	169	199	172	213	206	145							1,104
	(B)－(C)	708	733	822	766	849	852							4,730

逆紹介率



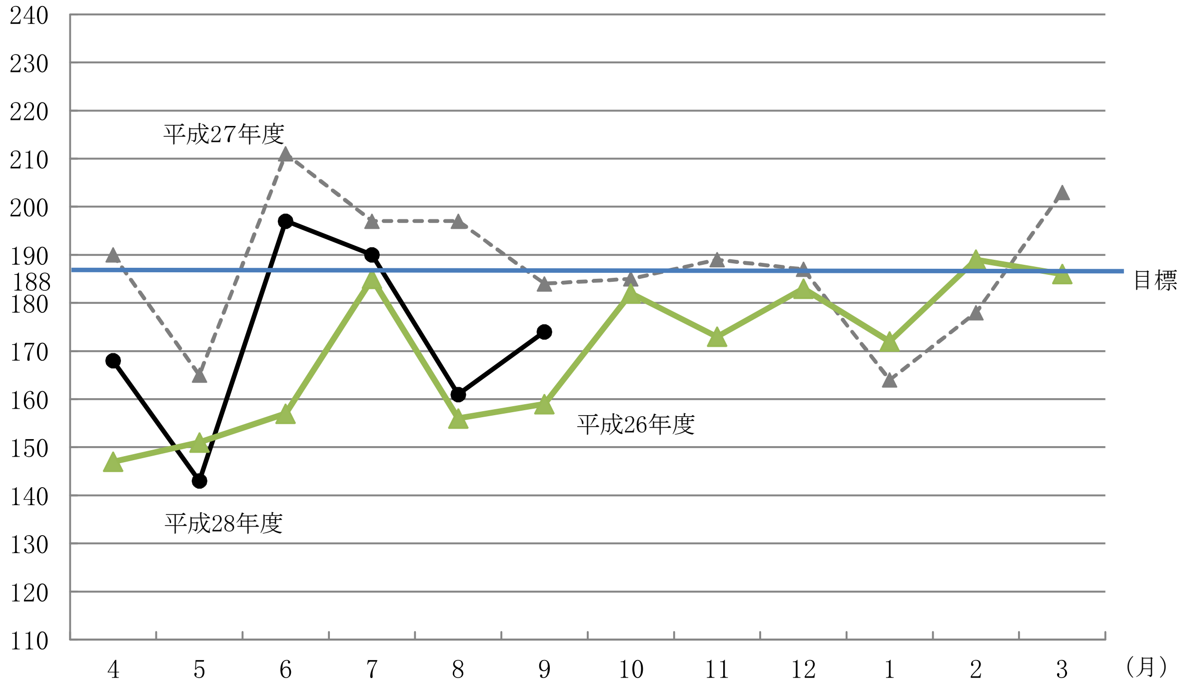
(%)

	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4-9月計
平成26年度	58.9	58.1	64.3	66.2	62.6	68.8	69.1	74.1	71.8	58.7	68.7	62.3	63.2
平成27年度	72.1	75.8	69.5	67.8	62.8	65.0	73.6	66.3	58.3	58.1	52.0	49.6	68.5
平成28年度	60.0	55.5	55.7	58.2	53.7	50.2							55.4
前年度比較	△ 12.1	△ 20.3	△ 13.8	△ 9.6	△ 9.1	△ 14.8							△ 13.1

(人)

		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4-9月計
分子	(A)逆紹介患者数	425	407	458	446	456	428							2,620
分母	(B)初診患者数	877	932	994	979	1,055	997							5,834
	(C)救急患者数	169	199	172	213	206	145							1,104
	(B)－(C)	708	733	822	766	849	852							4,730

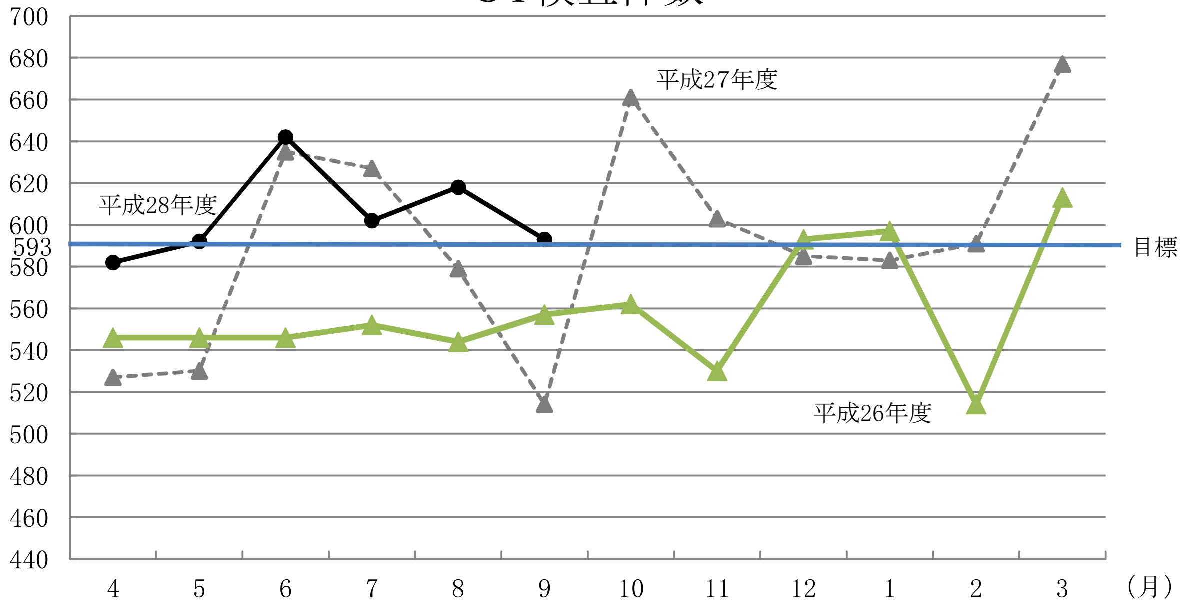
手術件数



（件）

	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4-9月計
平成26年度	147	151	157	185	156	159	182	173	183	172	189	186	955
平成27年度	190	165	211	197	197	184	185	189	187	164	178	203	1,144
平成28年度	168	143	197	190	161	174							1,033
前年度比較	△ 22	△ 22	△ 14	△ 7	△ 36	△ 10							△ 111

CT検査件数

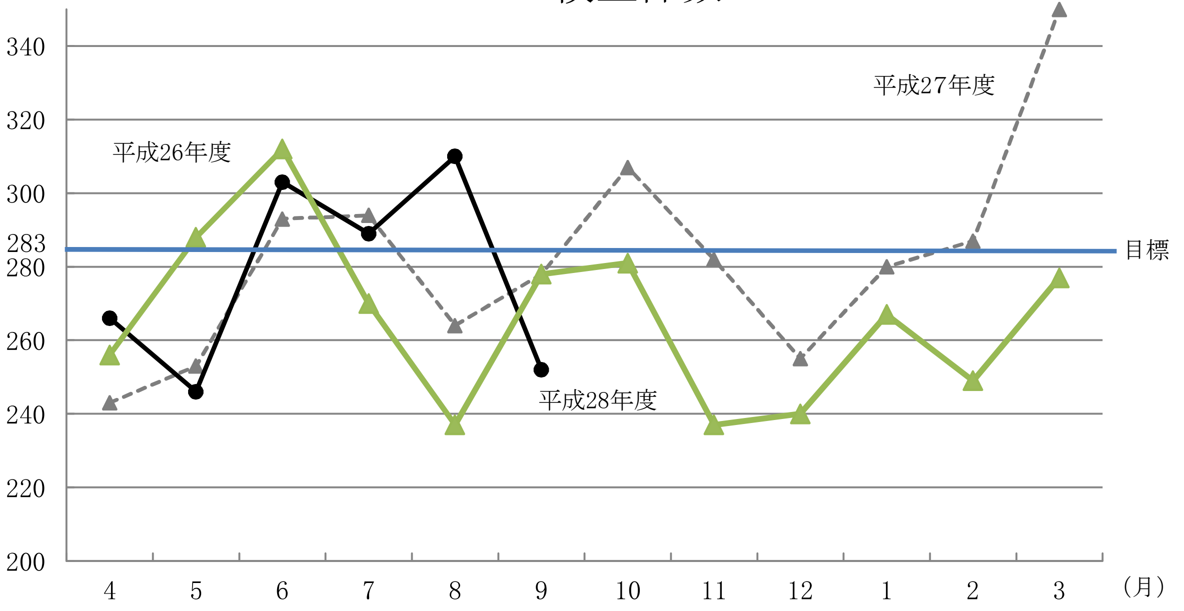


（件）

	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4-9月計
平成26年度	546	546	546	552	544	557	562	530	593	597	514	613	3,291
平成27年度	527	530	635	627	579	514	661	603	585	583	591	677	3,412
平成28年度	582	592	642	602	618	593							3,629
前年度比較	55	62	7	△ 25	39	79							217

平成28年度入・外内訳　外来2,287件（前年比109件増）　入院1,342件（前年比108件増）

MRI検査件数

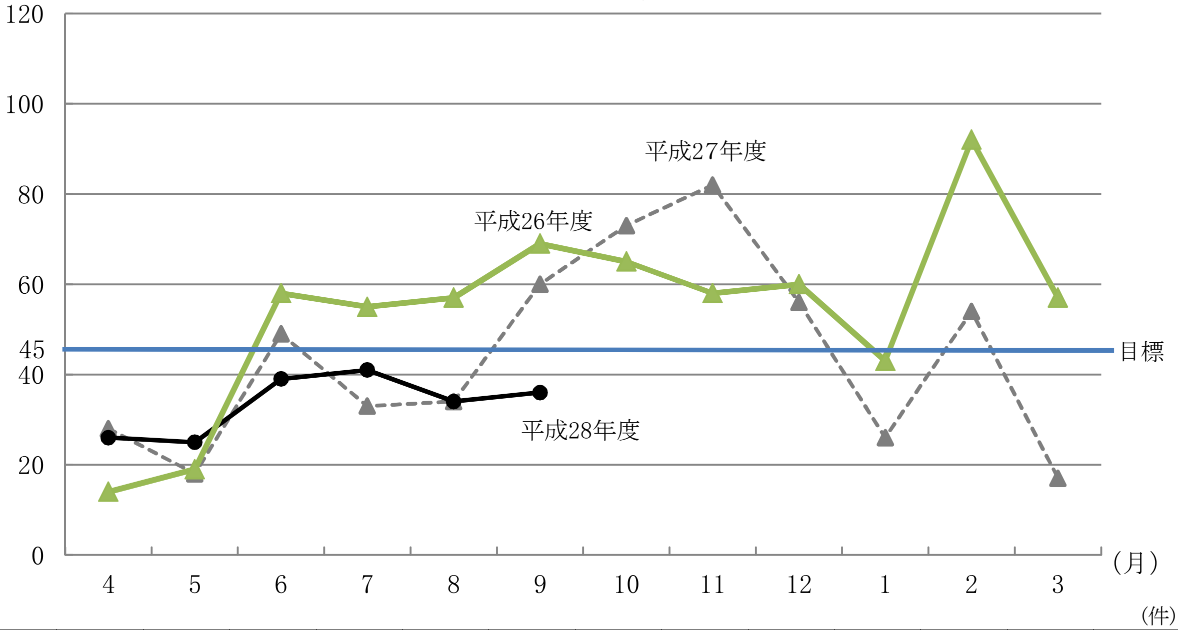


(件)

	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4-9月計
平成26年度	256	288	312	270	237	278	281	237	240	267	249	277	1,641
平成27年度	243	253	293	294	264	278	307	282	255	280	287	350	1,625
平成28年度	266	246	303	289	310	252							1,666
前年度比較	23	△ 7	10	△ 5	46	△ 26							41

平成28年度入・外内訳　外来1,395件(前年比16件減)　入院271件(前年比57件増)

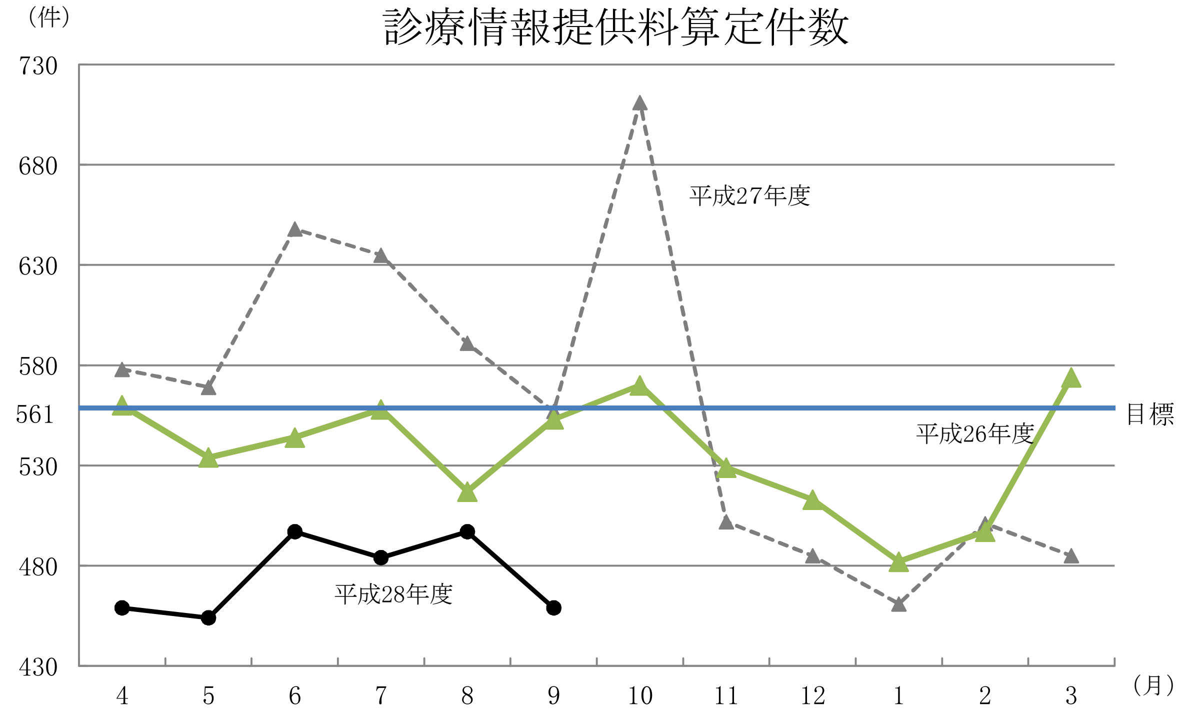
マンモグラフィー件数



(件)

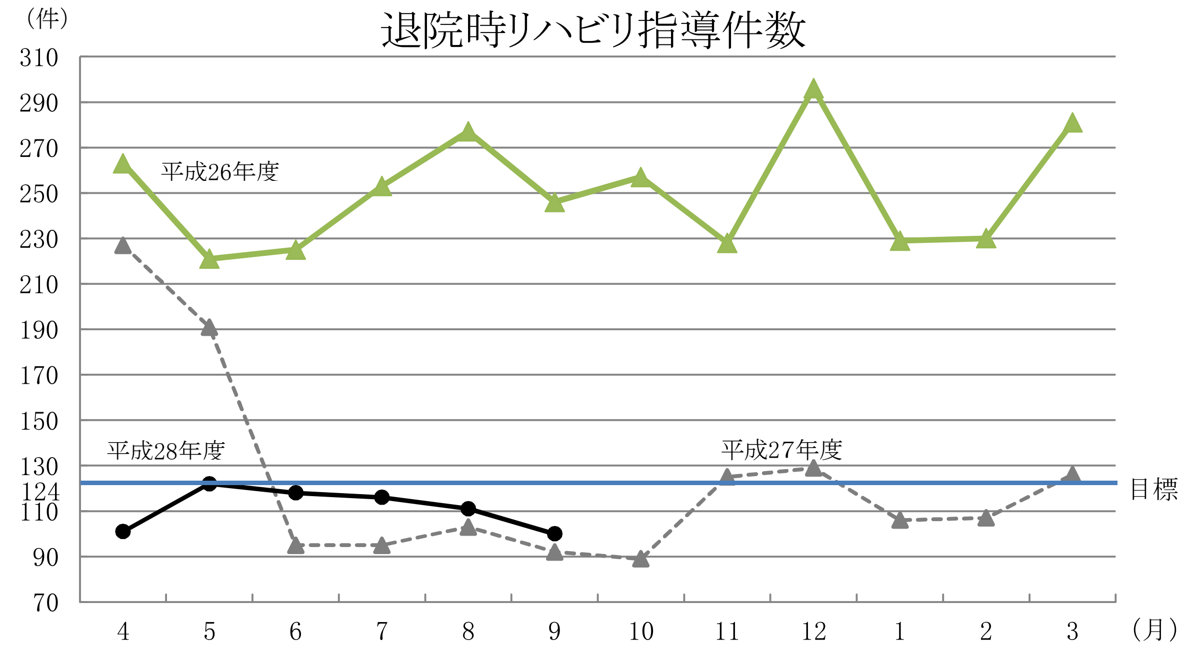
	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4-9月計
平成26年度	14	19	58	55	57	69	65	58	60	43	92	57	272
平成27年度	28	18	49	33	34	60	73	82	56	26	54	17	222
平成28年度	26	25	39	41	34	36							201
前年度比較	△ 2	7	△ 10	8	0	△ 24							△ 21

※40才以上の乳がん検診で実施したマンモグラフィーの件数



（件）

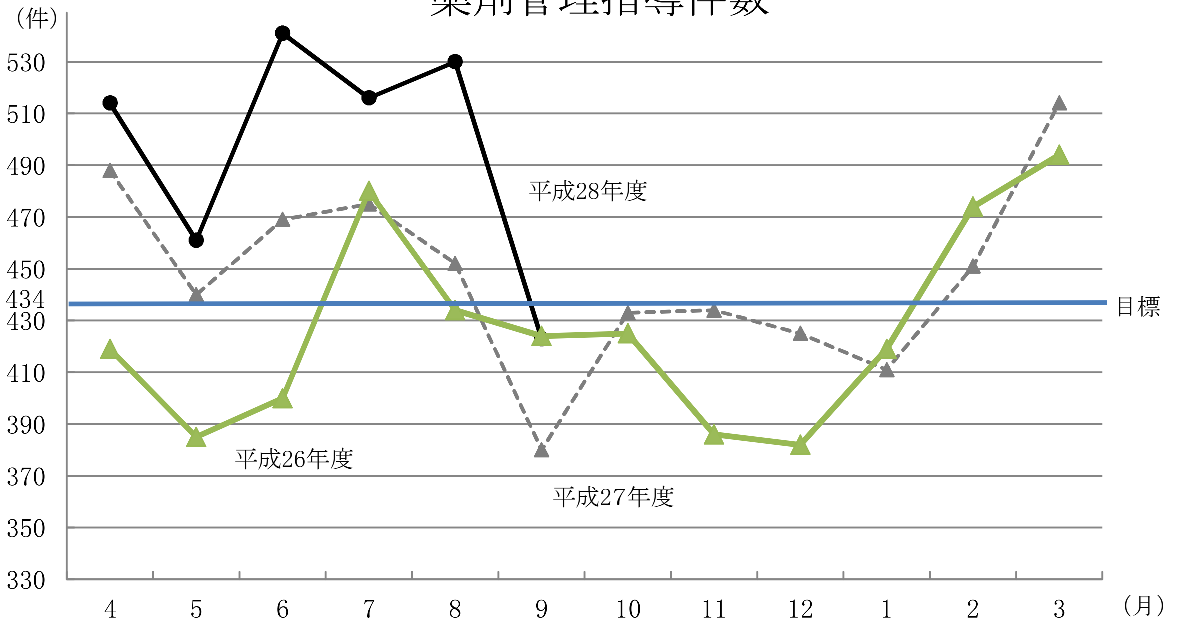
	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4-9月計
平成26年度	560	534	544	558	517	553	570	529	513	482	497	574	3,266
平成27年度	578	569	648	635	591	557	711	502	485	461	501	485	3,578
平成28年度	459	454	497	484	497	459							2,850
前年度比較	△ 119	△ 115	△ 151	△ 151	△ 94	△ 98							△ 728



（件）

	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4-9月計
平成26年度	263	221	225	253	277	246	257	228	296	229	230	281	1,485
平成27年度	227	191	95	95	103	92	89	125	129	106	107	126	803
平成28年度	101	122	118	116	111	100							668
前年度比較	△ 126	△ 69	23	21	8	8							△ 135

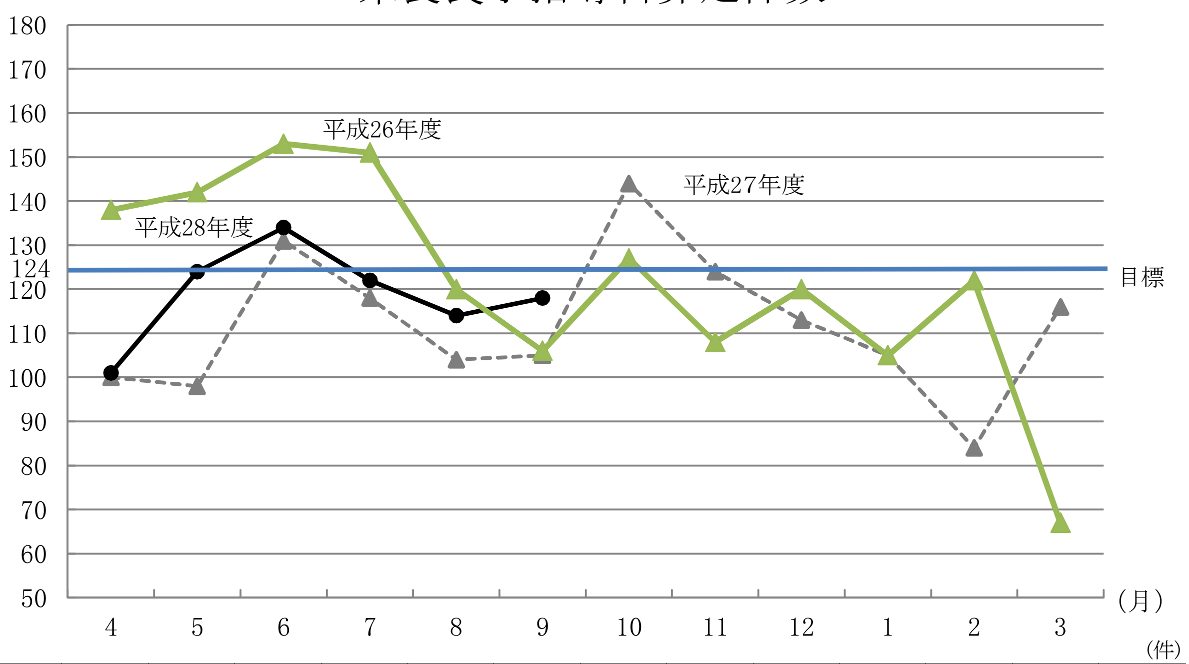
薬剤管理指導件数



(件)

	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4-9月計
平成26年度	419	385	400	480	434	424	425	386	382	419	474	494	2,542
平成27年度	488	440	469	475	452	380	433	434	425	411	451	514	2,704
平成28年度	514	461	541	516	530	423							2,985
前年度比較	26	21	72	41	78	43							281

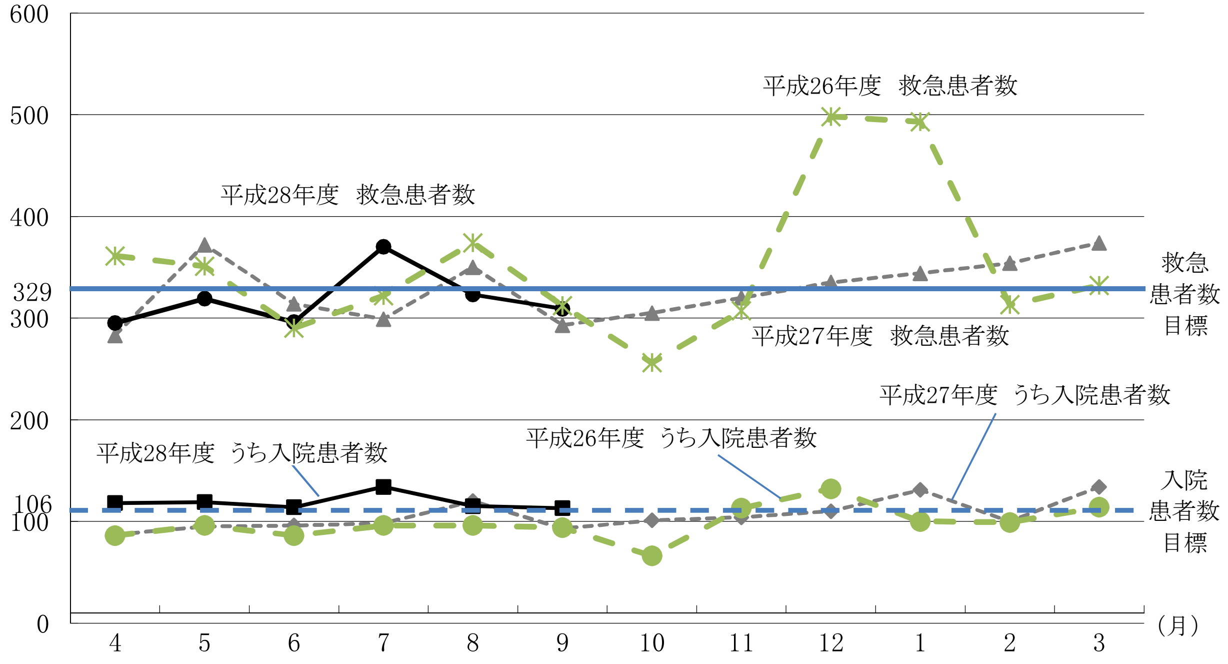
栄養食事指導料算定件数



(件)

	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4-9月計
平成26年度	138	142	153	151	120	106	127	108	120	105	122	67	810
平成27年度	100	98	131	118	104	105	144	124	113	105	84	116	656
平成28年度	101	124	134	122	114	118							713
前年度比較	1	26	3	4	10	13							57

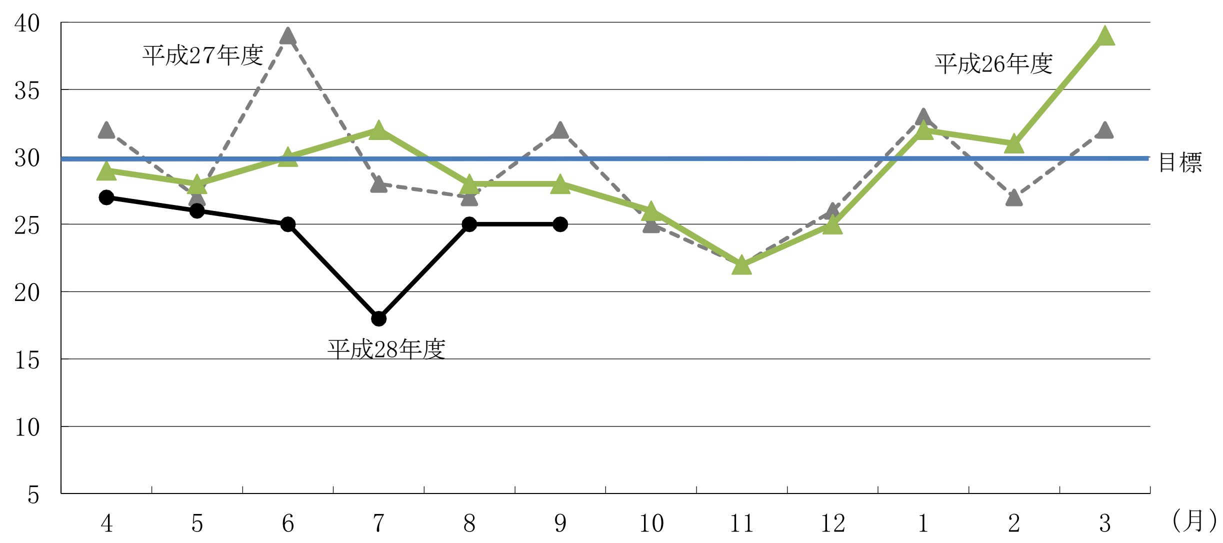
救 急 患 者 数



（人）

	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4-9月計
平成26年度救急患者数	361	351	290	322	374	312	256	307	498	493	313	332	2,010
うち入院患者数	86	96	86	96	96	94	66	113	132	100	99	114	554
平成27年度救急患者数	283	372	314	299	350	293	305	320	335	344	354	374	1,911
うち入院患者数	87	95	96	98	120	93	101	104	110	131	100	134	589
平成28年度救急患者数	295	319	296	370	323	309							1,912
うち入院患者数	118	119	114	134	115	113							713

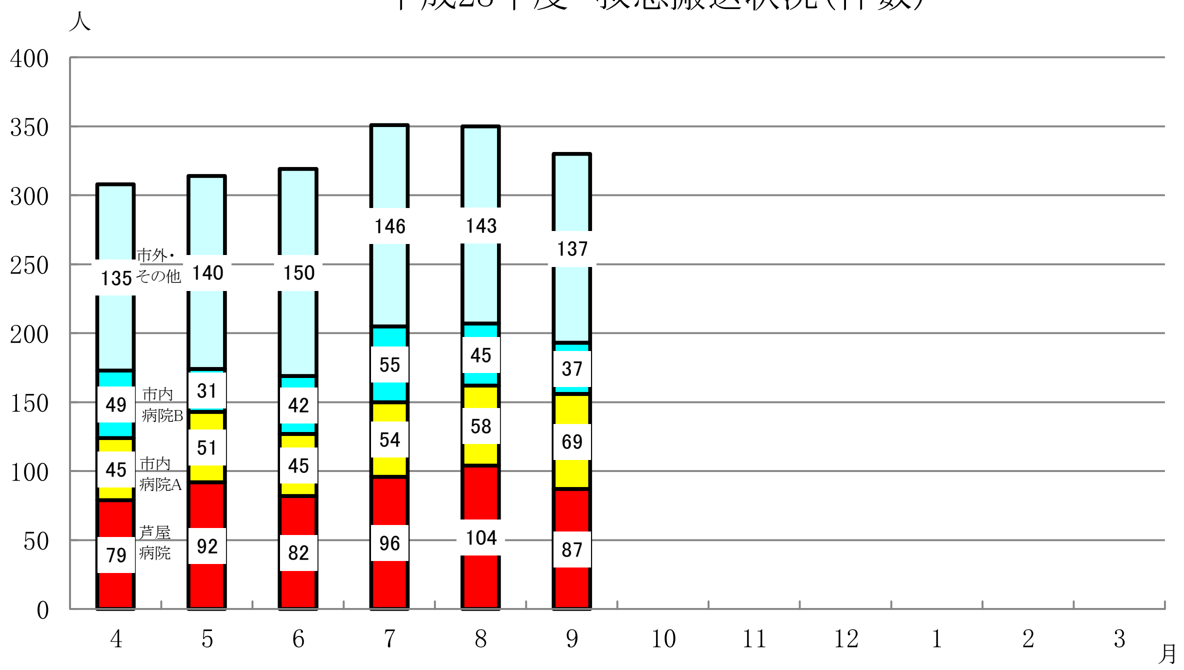
がん性疼痛緩和指導料算定件数



（件）

	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4-9月計
平成26年度	29	28	30	32	28	28	26	22	25	32	31	39	175
平成27年度	32	27	39	28	27	32	25	22	26	33	27	32	185
平成28年度	27	26	25	18	25	25							146
前年度比較	△ 5	△ 1	△ 14	△ 10	△ 2	△ 7							△ 39

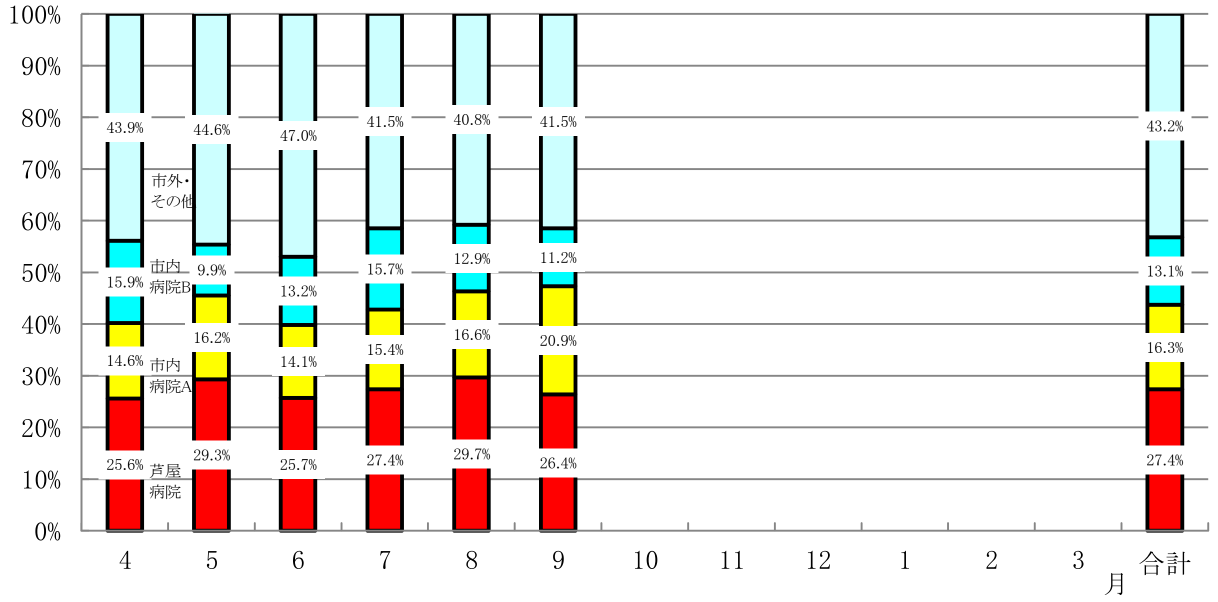
平成28年度　救急搬送状況(件数)



	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計	H27上半期計
芦屋病院	79	92	82	96	104	87							540	480
市内病院A	45	51	45	54	58	69							322	300
市内病院B	49	31	42	55	45	37							259	253
市外・その他	135	140	150	146	143	137							851	836
計	308	314	319	351	350	330							1,972	1,869

※市外・その他に市内診療所分を含む

平成28年度　救急搬送状況(比率)



	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計	H27上半期計
芦屋病院	25.6%	29.3%	25.7%	27.4%	29.7%	26.4%							27.4%	25.7%
市内病院A	14.6%	16.2%	14.1%	15.4%	16.6%	20.9%							16.3%	16.1%
市内病院B	15.9%	9.9%	13.2%	15.7%	12.9%	11.2%							13.1%	13.5%
市外・その他	43.9%	44.6%	47.0%	41.5%	40.8%	41.5%							43.2%	44.7%

※市外・その他に市内診療所分を含む

施設基準　届出一覧　　　　平成28年９月時点

基本診療料		
名称	届出日	備考
一般病棟入院基本料（７対１）	平成20年09月	
臨床研修病院入院診療加算１（基幹型）	平成16年07月	
救急医療管理加算・乳幼児救急医療管理加算	平成22年04月	
診療録管理体制加算１	平成26年04月	
医師事務作業補助体制加算２（２５対１）	平成28年08月	変更
急性期看護補助体制加算（５０対１）	平成23年01月	
療養環境加算	平成27年07月	
重症者等療養環境特別加算	平成22年07月	
無菌治療室管理加算	平成25年08月	
栄養サポートチーム加算	平成23年06月	
医療安全対策加算１	平成20年04月	
感染防止対策加算１	平成24年05月	
感染防止対策地域連携加算	平成26年04月	
患者サポート体制充実加算	平成24年04月	
呼吸ケアチーム加算	平成26年04月	
病棟薬剤業務実施加算１	平成24年04月	
データ提出加算２　ロ	平成24年10月	
退院支援加算１（地域連携診療計画加算）	平成28年04月	新規
認知症ケア加算１	平成28年04月	新規
小児入院医療管理料５	平成26年12月	
緩和ケア病棟入院料	平成24年08月	
短期滞在手術等基本料２	平成26年04月	

※届出日は当初届出を行った日

＜削除項目＞

名称	辞退日	備考
褥瘡ハイリスク患者ケア加算	平成28年08月	従事者の要件を満たさない為
退院調整加算1	平成28年04月	改定により廃止
救急搬送患者地域連携紹介加算	平成28年04月	改定により廃止
救急搬送患者地域連携受入加算	平成28年04月	改定により廃止
総合評価加算	平成28年04月	従事者の要件を満たさない為

施設基準　届出一覧　　　　　平成28年９月時点

特掲診療料		
名称	届出日	備考
糖尿病合併症管理料	平成26年08月	
がん性疼痛緩和指導管理料	平成22年04月	
がん患者指導管理料1，２	平成26年04月	
がん患者指導管理料3	平成28年04月	新規
夜間休日救急搬送医学管理料	平成24年04月	
開放型病院共同指導料（Ⅱ）	平成16年07月	
がん治療連携計画策定料	平成27年07月	
肝炎インターフェロン治療計画料	平成22年04月	
薬剤管理指導料	平成22年04月	
地域連携診療計画加算	平成28年04月	新規
検査・画像情報提供加算及び電子的診療情報評価料	平成28年04月	新規
医療機器安全管理料１	平成22年07月	
在宅患者訪問看護・指導料	平成24年12月	
持続血糖測定器加算	平成26年04月	
造血器腫瘍遺伝子検査	平成24年11月	
ＨＰＶ核酸検出及びＨＰＶ核酸検出（簡易ジェノタイプ判定）	平成26年04月	
検体検査管理加算（Ⅱ）	平成20年04月	
時間内歩行試験及びシャトルウォーキングテスト	平成24年09月	
胎児心エコー法	平成22年04月	
皮下連続式グルコース測定	平成26年10月	
小児食物アレルギー負荷検査	平成24年05月	
センチネルリンパ節生検（片側）	平成22年04月	
画像診断管理加算２	平成22年08月	
ＣＴ撮影及びＭＲＩ撮影	平成24年04月	
冠動脈ＣＴ撮影加算	平成20年04月	
大腸ＣＴ撮影加算	平成24年04月	
心臓ＭＲＩ撮影加算	平成21年09月	
外来化学療法加算１	平成20年04月	
無菌製剤処理料	平成20年05月	
脳血管疾患等ﾘﾊﾋﾞﾘﾃｰｼｮﾝ料（Ⅱ）	平成26年01月	
運動器ﾘﾊﾋﾞﾘﾃｰｼｮﾝ料（Ⅰ）	平成26年01月	

施設基準　届出一覧　　　　平成28年９月時点

特掲診療料		
名称	届出日	備考
呼吸器ﾘﾊﾋﾞﾘﾃｰｼｮﾝ料（Ⅰ）	平成25年02月	
がん患者リハビリテーション料	平成25年03月	
認知療法・認知行動療法	平成24年10月	
処置の休日加算１、時間外加算１及び深夜加算１	平成26年04月	
乳腺悪性腫瘍手術（乳がんセンチネルリンパ節加算１又は乳がんセンチネルリンパ節加算２を算定する場合に限る。）	平成22年04月	
ﾍﾟｰｽﾒｰｶｰ移植術及びﾍﾟｰｽﾒｰｶｰ交換術	平成24年09月	
早期悪性腫瘍大腸粘膜下層剥離術	平成24年04月	
医科点数表第2章第10部手術の通則5及び6（歯科点数表第2章第9部の通則4を含む。）に掲げる手術	平成20年04月	
手術の休日加算１、時間外加算１及び深夜加算１	平成26年04月	
胃瘻造設術（経皮的内視鏡下胃瘻造設術、腹腔鏡下胃瘻造設術を含む。）	平成26年04月	
輸血管理料Ⅱ	平成19年05月	
輸血適正使用加算	平成24年04月	
人工肛門・人工膀胱造設術前処置加算	平成24年09月	
胃瘻造設時嚥下機能評価加算	平成26年04月	
麻酔管理料（Ⅰ）	平成27年03月	
保険医療機関間の連携による病理診断	平成26年11月	
ﾃﾚﾊﾟｿﾛｼﾞｰによる術中迅速病理組織標本作製	平成23年04月	
ﾃﾚﾊﾟｿﾛｼﾞｰによる術中迅速細胞診	平成23年04月	

＜削除項目＞

名称	辞退日	備考
地域連携診療計画管理料	平成28年04月	改定により廃止
地域連携診療計画退院時指導料（Ⅰ）	平成28年04月	改定により廃止
心大血管疾患リハビリテーション料（Ⅱ）初期加算有	平成28年04月	従事者の要件を満たさない為

資料７

講　座　等　活　動　実　績

【市民向け講座等】

がんフォーラム

項　　　目	開催日	開催場所	参加人数
がんフォーラム２０１６ 「がんと共存　よりよく生きる ～がん患者のQOL（生活の質）向上を目指して～」	9月17日	ルナ・ホール	400名

ホスピタルフェスタ

項　　　目	開催日	開催場所	参加人数
あしやホスピタルフェスタ２０１６	11月6日	市立芦屋病院	700名

公開講座

項　　　目	開催日	開催場所	参加人数
これからのがん治療～芦屋病院の役割～	4月9日	芦屋市民センター	69名
これからの歯科治療について～開業10周年を迎えて～	5月7日		59名
飲み込みにくいと感じたら	6月4日		38名
出張！糖尿病教室～糖尿病と神経障害～	7月2日		46名
中高年における排尿障害～院内開業10周年企画～	8月6日		75名
心不全と食事～おいしく節塩～	9月3日		52名
人間ドックについて～健やかに生きるために～	10月8日		39名
あなたの骨は大丈夫？～コツコツと学ぶ骨粗鬆症のお話～	11月5日		64名

糖尿病教室

項　　　目	開催日	開催場所	参加人数
糖尿病治療・療養について	4月8日	市立芦屋病院	24名
食事療法～はじめの一歩～ 薬物療法	5月13日		31名
臨床検査 食事療法～水分～	6月10日		29名
出張！糖尿病教室～糖尿病と神経障害～	7月2日	芦屋市民センター	46名
食事療法～糖質に注目したカーボカウント法とは？～ 糖尿病と眼の病気	9月9日	市立芦屋病院	22名
運動療法 食事療法～間食・外食も怖くない！～	10月14日		25名
世界糖尿病デイ記念ミニイベント 糖尿病の最新治療他	11月11日		23名

院内コンサート

項　　　　　　　　　目	開催日	開催場所
ほのぼのコンサート	月1回	市立芦屋病院
マチネーコンサート	月1回	
トワイライトコンサート	6月12日	

その他

項　　　　　　　　　目	開催日	開催場所
芦屋さくらまつり	4月2日 4月3日	芦屋川付近
休日がん検診	10月2日	市立芦屋病院
子育て支援活動「あいあい」「カンガルー」	月1回	市立芦屋病院

【医療従事者向け講座等（地域医療機関含む）】

芦屋緩和ケア研修会

項　　　　　　　　　目	開催日	開催場所	参加人数
第11回芦屋緩和ケア研修会　～芦屋を緩和ケアの中心に～	4月21日	市立芦屋病院	174名

医療安全研修会

項　　　　　　　　　目	開催日	開催場所	参加人数
薬剤から学ぶ薬物相互作用と医療倫理	7月5日 7月19日	市立芦屋病院	282名
元吉本芸人から学ぶ！ 最強の医療コミュニケーション「なんでやねん力！」	8月2日		135名
医療紛争を回避する為の説明と同意	11月25日		138名

院内感染対策研修会

項　　　　　　　　　目	開催日	開催場所	参加人数
病院感染対策のいろは	6月7日 6月13日	市立芦屋病院	278名
職業感染対策～針刺し切創・血液曝露を中心に～ 業務災害について	9月8日		180名
基本から考える感染症診療	11月22日		129名

その他

項　　　　　　　　　目	開催日	開催場所	参加人数
保険診療に関する講習　保険診療の理解のために	9月27日 10月25日	市立芦屋病院	85名

【各種広報活動】

広報あしや　掲載コラム

内　　　　　　　　　容	掲載日
人間ドックについて	4月15日
6月に体組成分析装置が導入されます！	5月15日
臨時号「芦屋病院特集」病気と共存　他	6月15日
外科の特色と専門外来	9月15日
リハビリテーション外来について	11月15日

芦屋市広報番組「あしやトライアングル」(J-COMｹｰﾌﾞﾙﾃﾚﾋﾞ)

内　　　　　　　　　容	放送日
お知らせ「がんフォーラム2016」	9月前半
特集「姉妹都市交流55周年記念事業 　　(モンテベロ市ビバリー病院へ看護師派遣インタビュー)」	9月後半
お知らせ「あしやホスピタルフェスタ2016」	10月前半
特集「芦屋病院　人工関節センターの開設」	11月後半

市立芦屋病院だより　「ＨＯＰＥ　ｐｌｕｓ」

内　　　　　　　　　容	掲載日
・新病院長　ごあいさつ ・新任Drのご紹介 ・教えてDr！「生理の量は多いですか？」 ・「転倒しない・させない」をモットーに	4月1日
・人工関節で歩こう！ 　～ひざ痛で寝たきりにならないために～ ・教えてDr！「乳腺専門外来について」 ・体組成分析装置（InBody）で自分のからだを知りましょう！	7月1日
・新任Drのご紹介 ・整形外科よりお知らせ 　～人工関節センターがスタートします～ ・認定Nsのご紹介 ・市立芦屋病院・県立西宮病院「周産期ネットワークシステム」について	10月1日

市立芦屋病院　地域連携室だより　「ＵＰ　ＴＯ　ＤＡＴＥ」

内　　　　　　　　　容	掲載日
特別号「医師・病棟・コメディカルスタッフ紹介」	6月発行
・診療科紹介：整形外科～人工関節センターについて～	8月発行
・診療科紹介：糖尿病内科～糖尿病治療について～ ・骨密度測定（DEXA検査）の紹介 ・H28.9月より緩和ケア内科医師が1名増員しました！	10月発行

資料８

実習受入実績及び予定（平成28年度）

受 入 科 等	学 校 等	人 数	実　習　期　間
診療局	兵庫医科大学病院	6名	4月1日～5月31日 6月1日～7月31日 8月1日～9月30日 10月1日～10月31日 10月1日～29年3月31日 12月1日～29年1月31日
	大阪大学	4名	7月19日～7月29日 11月14日～11月25日
	甲南女子大学（ペインクリニック内科見学）	4名	10月19日 10月26日
看護局	西宮市医師会看護専門学校	22名	5月10日～9月21日 7月12日～7月29日
	神戸看護専門学校	35名	7月11日～7月25日 11月28日～12月12日 29年1月9日～1月23日 29年2月20日～3月6日
	兵庫大学	35名	8月22日～8月26日 10月17日～10月28日 11月7日～11月18日 11月28日～12月9日 29年1月9日～1月20日
	兵庫県看護協会	1名	9月1日～29年3月31日
薬剤科	神戸学院大学	3名	4月11日～7月3日 9月26日～12月11日 29年1月10日～3月27日
	京都薬科大学	1名	4月11日～7月3日
	神戸薬科大学（早期体験）	8名	5月10日 5月17日
	武庫川女子大学（早期体験）	4名	6月9日
	武庫川女子大学	2名	7月4日～9月25日 29年1月10日～3月27日
	神戸薬科大学	2名	7月4日～9月25日 29年1月10日～3月27日
	大阪薬科大学	2名	9月26日～12月11日
臨床検査科	大阪医療技術学園専門学校	1名	6月22日～9月9日
	神戸学院大学	4名	8月1日～8月12日 29年1月6日～1月27日
	神戸常盤大学	1名	29年1月11日～3月7日
リハビリテーション科	宝塚医療大学	1名	4月11日～5月29日
	吉備国際大学	1名	8月29日～9月24日
	兵庫医療大学	1名	29年1月9日～3月4日
栄養管理室	園田学園女子大学	2名	5月9日～5月20日
	神戸松蔭女子大学	2名	5月23日～6月3日
	武庫川女子大学	2名	6月6日～6月24日
	神戸女子大学	4名	8月1日～8月12日 8月15日～8月27日
	神戸学院大学	4名	9月5日～9月16日 9月26日～10月7日
	千里金蘭大学	4名	29年1月30日～2月10日 29年2月13日～2月24日
（トライやるウィーク）	芦屋市立精道中学校	3名	5月23日～5月27日
	芦屋市立山手中学校	3名	5月30日～6月3日
	芦屋市立潮見中学校	3名	6月6日～6月10日
	芦屋国際中等教育学校	3名	11月7日～11月11日